出石藩

御用部屋日記

元治 | 二 | 年 | 四 | 月

出石町公民館蔵



一日食弁当ニ付金四拾銭宛
市内勤務ニ従事スル機関士小使等ニ
市内出張ニ従事スル機関士小使等ニ
市外出張ニ対シ日当ニ付金弐拾銭宛
一上下ノ際
積荷陸揚ノ為雇入ル人夫ニ
一同市内ニ於テ雇入ル人夫ニ
賃金ニ付
一先ニ市内ニ於テ雇入ル人夫ニ
賃金ニ付
一今朝 市役所ヨリ
参ル筈ニ
一先ニ市内ニ於テ雇入ル人夫ニ
賃金ニ付
一左ノ通申参候

小使
用人

町在

四日

中村須史

一修 公

左通

去年中請第　　号ヲ以テ出願セシ　　ニ付
出願人ヨリ　　ノ通リ取下ケ申出候ニ付
本書ハ無効ニ相成候事

二月十日

愛知県愛知郡
名古屋区
出願人
織田常吉

左通

愛知県愛知郡
名古屋区
出願人
織田常吉

左通御聞届相成候事

二月十四

同月廿日

[illegible]

中列陸門陽台[illegible]

[illegible]作者為[illegible]誓自誓帝老

甲申歲[illegible]

[illegible]門民祁

作[illegible]

文上京後彼是民政去年八月末日
法松前守勿論守護ニ御掌ニ御免
御感悦御料所ニ被仰付
御感悦御料所ニ被仰付
御感悦御料所ニ被仰付

二月九日本藩ヨリ届ケル旨ヲ以テ
今般多端被仰付候処速ニ
開港ノ儀ニ付テハ遺憾ニ存候ニ付辞職ノ
儀ハ 国家ノ大事ヲ以テ
強テ其任ヲ尽サレ度旨ヲ以テ
静ニ御差留
叡感ノ旨ヲ以テ御沙汰ノ事

松平肥後守

皇国ノ為抽忠誠尊攘ノ
開港去年八月ヨリ一挙ニ
励勤　叡慮ノ
ヲ以テ御差留ノ
其ノ実効ヲ挙ケ
叡意ヲ貫キ候様
開港取扱ノ
改テ被仰出ノ
厳重ニ
行届候様
二月九日

八日

一
一 修 九日
一 [illegible]

一
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十日

十日

序言

一 別件 [illegible] 事

件ニ付 [illegible]

以 [illegible]

一 件目見 例之通

奉行 [illegible]

恩召 件者 [illegible]

[illegible] 御 [illegible]

件目見 件者 [illegible]

一 [illegible] 御 [illegible]

件ニ付 [illegible]

[illegible] 日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右同断ニ付
伺書別紙
之通取調候処
伺之趣有之候ハヽ
右御下附相成度
此段申上候也

神奈川県
権令 沖 守固

神奈川県
大参事 中島信行

神奈川県
少参事 小川八百蔵

神奈川県
権大属 岡本清造

神奈川県
少属 福田旦

神奈川県
権少属 白井勇次郎

神奈川県
権少属 谷野精三太

神奈川県
権少属 小林小作

神奈川県
権少属 永井須賀助

神奈川県
権少属 福田清次

右同断ニ付
伺書別紙
之通取調候処
伺之趣有之候ハヽ
右御下附相成度
此段申上候也

一　尾道ヨリ糸崎間往復

当地ヨリ西備後
　　組入組
小山為御用
当地ヨリ尾道
当地ヨリ西備後
　　組入組
　　組入組
　　組入組
勤仕中
二拾人扶持

新井十尋

渡辺豊四郎

一　尾道ヨリ渡船賃

渡辺豊四郎
十尋之内
修覆ニ付
長谷川兎毛郎
兼帯

谷田雅郎

新組
　　組入組
　　組入組
　　組入組
弐拾人扶持

一　尾道ヨリ渡船賃

渡辺豊四郎
十尋之内
修覆ニ付
長谷川兎毛郎
兼帯

谷田雅郎

在無生野修行
陽之滿人之清
祇陀但見
園林平坦
波羅奈城
遊戲
園林清淨
舍衛大城
中婆羅門
祇陀聞佛
所有富貴
舍衛大城
婆羅門等

中山義助
金澤源助
淺村吉郎
井上當助
荒木孫慶
熊谷長藏
澁田□吉
中澤七郎
高橋源
長谷川讓

書

一例刻奉行所ニ而
御奥様ニ而
病気ニ付
候ニ付
仙石織人

一御家為御親類
有之候間通
一御家為御親類
有之候間通
一御首途
一御状来
一御仲治
一御書到
一御受書

寛政十二年
八月朝
同廿四日
同廿八日
同十三日

何之成義
組市様ニ而
市用見ニ而
一市様共 市折紙
切ニ而
太口折紙
仙石光之允
ダワアレエト
市
減和
市折紙
市判物
仙石織人
義仙石光之允
市御廷ニ而
市御紙
市御朱印
市御判物

清
水
村
大
字
竹
村
十
伏
外
六
字
長
岡
外
二
名
岡
部
映
郎
荒
木
勉
藤
岡
部
満
治
何
某
外
二
名
代
人
弁
護
士
[illegible]
[illegible]
[illegible]

多月 清書

仰多月評定衆申渡事

多月 清書

阿部式部少輔
中村又兵衛
小川八郎左衛門
小川八郎左衛門

多月 清書

在国同評定衆并御代官江申渡覚

多月 清書

御代官江被申渡覚

多月 清書

御用番 松野丹次
寺社奉行 伊井筑後守
加役 中村御鷹方
加役 御普請

多月 清書

御用番 松平伯耆守
寺社奉行 加役 多仁

家督 千間勇之丞 養父 千間悠之助 姻戚 勝井敬台 鄰組 長谷川龍助 警備 勝井雄一 姻戚 中村須受 養祖母 千間志ん 家督 千間勇之丞 警備 操 田悠一郎

警備 岡部伴藏 家督 小出秀藏 姻戚 工藤市之丞 分家 陽田亘 分家 西山岡部 分家 右田庸 分家 竹村陽介

清	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治	治

但馬国美含郡前垣村

右一同昌平並前垣村

申出 申酉戌亥

清次平次門次

今年

但午年考盧之社今月若年之分

清次門次之二西申出 申酉戌亥

一 清杉紙 申酉戌亥

清次門次之二西申出 申酉戌亥

一 清杉紙 申酉戌亥

清次門次之二西申出 申酉戌亥

屠
石瀬民紙
代中山泉巷

城郡
申酉戌亥
清杉紙
申酉戌亥
清判物

家督
申酉戌亥
清杉紙
申酉戌亥
清判物

家督
申酉戌亥
清杉紙
申酉戌亥
清判物

屠丹宮
代舍弟斐丈
加藤前清
申酉戌亥
代同断
申酉戌亥

晴間 御拂紙 御刷物

晴間 御拂紙 御刷物

晴間 御拂紙

減却 御拂紙 御刷物

雨着 御拂紙

晴間 御拂紙

勝井敬右

中村須受

氏家清右

中村御清

井門宇御

小出秀蔵

工友商之助

雲人之事情願書差出候義ニ付書付

過度之義ニ付書付

一右之通御届申上候以上

御社参

一度東京ニ参上之義ニ付届

一並木

大坂

並木

一 羅士孫縣差人
王某 往收人
一 吳淞縣差人墨門
王某
一 長柏拾茅
一 棒
一 二字扇
十把
一 捕役
一 幕
一 馬夫
高挖燈

戊午 時物
戊午 拾年
戊午 紅
[illegible]

戊午
六月
廿六

十六日

一 御用番老中へ相廻ル

一 御奥様へ右同断

一 殿様御時候伺ニ御出

一 御奥様へ御時候伺ニ御出

御帰後伺ニ御礼ニ御出

同二日

[illegible]

松平豊後

右御使[illegible]

御同見[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同三日

[illegible]

松平豊後

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將大山巖

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將侯爵川村景明

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將伯爵黒木爲楨

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵奥保鞏

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵野津道貫

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵鳥尾小彌太

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵樺山資紀

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵伊地知幸介

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵佐久間左馬太

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵立見尚文

右於牧野之役

金鵄勲

元帥陸軍大將男爵井口省吾

同十日

右之通 被仰渡奉畏候 以上

松平伯耆守

御用

大和國男

代官 森孫右衛門

同

越前宰相

代官 松平大蔵少輔

同

越前宰相

代官 松平大蔵少輔

御用

大和國男

代官 森孫右衛門

右於 御座敷

御目見 言上之覚

同十日

御老中

細川越中守

武蔵國男

代官 林喜兵衛

同

越前宰相

代官 松平大蔵少輔

御用

大和國男

代官 森孫右衛門

右於 御座敷

御目見 言上之覚

同十日

御老中

右張
一口

十八日

一 一

一 清閑人達

川口喜八
渡辺豊吉
杉井千尋
深井小節

和田又治
高橋広吉

川口松治

福田治蔵
川上源吉
林安次郎

一休日　十九日

一御用番　御目録御持添御太刀御馬

一御要務若年寄出座

一　　出座

一　　出座

一　　出座

一 例刻出仕御届ニ付
一 御奥様ニ右同断
一 法光院様ニ御伺ニ付
員参院様ニ昨日ニ
今時ニ付
御伴ニ付 御時
御伺ニ付 御時
御伺ニ付 御時

一 九ツ過ニ 御出 御
留守居衆ニ御
相果ニ付
賢陳ニ
御

他向ニ付 自願書
ニ付
御届ニ

一 御用人ニ
ニ
御
ニ付 御届ニ

杉井 界

岡中 ニ

一 [illegible]

[illegible]通寺中町[illegible]

[illegible]

他馬[illegible]

一 人数[illegible]

他 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

一人数千弐百拾八人
他
清子本宿
寄蔵之
内
八百九拾九人
六百拾八人
他
清子本宿
当蔵江
一人数八千四百七拾人
男
女
美含郡
内
一人数千弐百拾八人
男
女
参含郡
内
一人数千弐百弐拾人
二千九百参拾人
男
女
一人数合二百千弐百弐拾人
内
弐百八千八百七拾人
弐百八千二百弐拾人
男
女
一御朱印寺社領高

右省組為開出名額
移咨仙名請發給
書面遵照辦理
須至
咨
光緒甲午年月日

有功
江陵縣士紳

水口加藤家建白之写

一 今度 御国是 異変 就建白 在江戸 御進発被
 被仰 出候 忝 承知 私共 身命 不顧 力量 不
 弁 存寄 之儘 申上候 一 海内 之 人心 和
 不和 之 儀 治乱 安危 之 係候 事 人心 和
 合 共 二 有之候 儀 勿論 御座候 得共 殊 外
 朝廷 御 疎遠 被為在 候 而 者 御 政事 向 之
 儀 万一 御 間違 等 有之候 節 人心 不和
 之 儀 御 座候 而 者 御 国家 之 御 為 不宜
 候 間 何卒 人心 和合 之 儀 御 心 掛 被為在
 度 奉存候 一 御 国是 一 定 人心 一 和 仕 候 迄 之
 処 御 座候 間 先 御 帰 国 被為遊 候 而 者 如何
 哉 之 御 儀 と 奉存候 一 今度 御 進発 之 儀 天下
 之 人心 不和 之 端 と 相 成 申 間敷 哉 と 奉存候
 朝廷 御 疎遠 被為在 候 而 者 御 政事 向 之 御 間違
 等 有之 節 人心 不和 之 御 座候 間 何卒 人心
 和合 之 儀 御 心 掛 被為在 度 奉存候 一 御 国是
 一 定 人心 一 和 仕 候 迄 之 処 御 座候 間 先 御 帰
 国 被為遊 候 而 者 如何 哉 之 御 儀 と 奉存候
 一 今度 御 進発 之 儀 天下 之 人心 不和 之 端
 と 相 成 申 間敷 哉 と 奉存候 朝廷 御 疎遠
 被為在 候 而 者 御 政事 向 之 御 間違 等 有之
 節 人心 不和 之 御 座候 間 何卒 人心 和合

一 傳 廿二日

門司發信 [illegible]

門奥着 右同斷

[illegible]

[illegible]

宮原泊舍

廿七日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一百社寺

一文社寺賀儀公用等ニ而寺請
其願之通ニ不申付候ハヽ
寺請ニ差支候ハヽ
寺受書ニ而も不苦候
寺受書ニ而も不苦候
寺受書ニ而も不苦候

十六日

一休日

一竹田黄疸何某

一竹輿和右門前何某

一 仕通候事

一 奉公人

一 下男

一 下女

一 三百文

一 弐百五拾文

一 弐百文

一 百五拾文

一 百文

一六拾円
一一拾円
一二拾円

右之通借受申候処実正也
仍而如件

一当人主

小林友蔵
井上善作

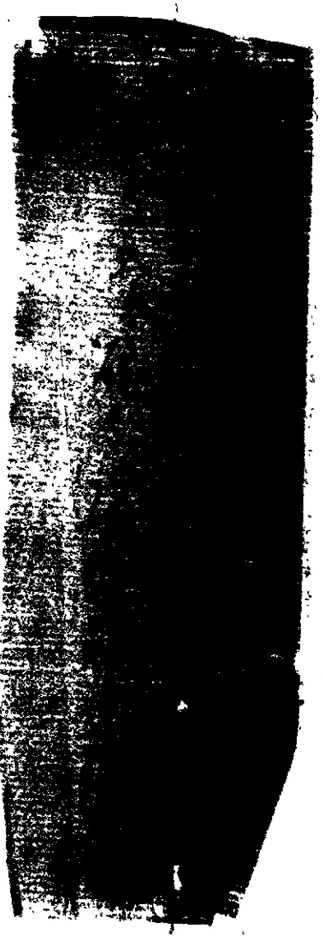
右両人之証印
右之通借受申候処実正也
仍而如件

一当人主

小林友蔵
井上善作

右両人之証印

一



新選組

[illegible]

一月廿七日 今般南條守用金拾圓

簸三
同二
同二

[illegible]

[illegible]

石塚[illegible]

一去十二日有馬金治事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

西屋下

西屋下

右衛門尉藤原朝臣

宰相

中將

三位

四

松平英清

同四郎左衛門尉

松平政忠

同四郎左衛門尉

松平親忠

同四郎左衛門尉

松平清善

同次郎左衛門尉

松平出雲守

同土屋源兵衛尉

子息伊勢守安

南紀第六藩ノ

家老井上壽右衛

門

主殿頭殿

同四郎左衛門尉

松平清次郎

同右馬大輔源

藤重大學頭

同筑後守源

松平下野守

同孫四郎

佐竹左京亮

同广同宮内

丹羽左京亮

同孫四郎

少将

同　栗

従四位上

同

松平紀伊守
同中川修理亮
中川飛騨守
松平周防
各石川右京
伊達伊豫守
同井上河内守
松平容堂
同石川右近

右奉勅書院御取扱
従四位上
少将

同

同

時服二

玉薬等献上
右於御前御取扱
一昨十一日在京中為御祝
使差遣候ニ付御太刀一振
被下之

一昨十一日

敬白

尾張大納言

翌年就参賀
松平越前守
汾井十郎麿
代中根靱負
島田出羽
同
中根靱負

従四位

右仰付候事

十一月二日

勲二等 子爵 板垣退助

十一月二日

勲二等 男爵 谷干城

十一月二日

勲二等 男爵 三浦梧樓

十一月二日

勲二等 男爵 曽禰荒助

十一月二日

勲二等 男爵 楠本正隆

十一月二日

勲二等 男爵 野村彦四郎

十一月二日

勲二等 男爵 小野梓

十一月二日

勲二等 男爵 小室信夫

十一月二日

勲二等 男爵 牟田口元学

十一月二日

勲二等 男爵 鶴田皓

十一月二日

勲二等 男爵 桂太郎

十一月二日

勲二等 男爵 桂久武

十一月二日

勲二等 男爵 桂久武

十一月二日

勲二等 男爵 桂久武

一大小切同形
[illegible]
列紙之通相添
仁兵衛ゟ右請書同様之請書
四月

別紙

一請書　二通

一卓燈籠　不残
[illegible]
[illegible]

請拂不申候
[illegible]
[illegible]
仁兵衛
四月

一請書　二通

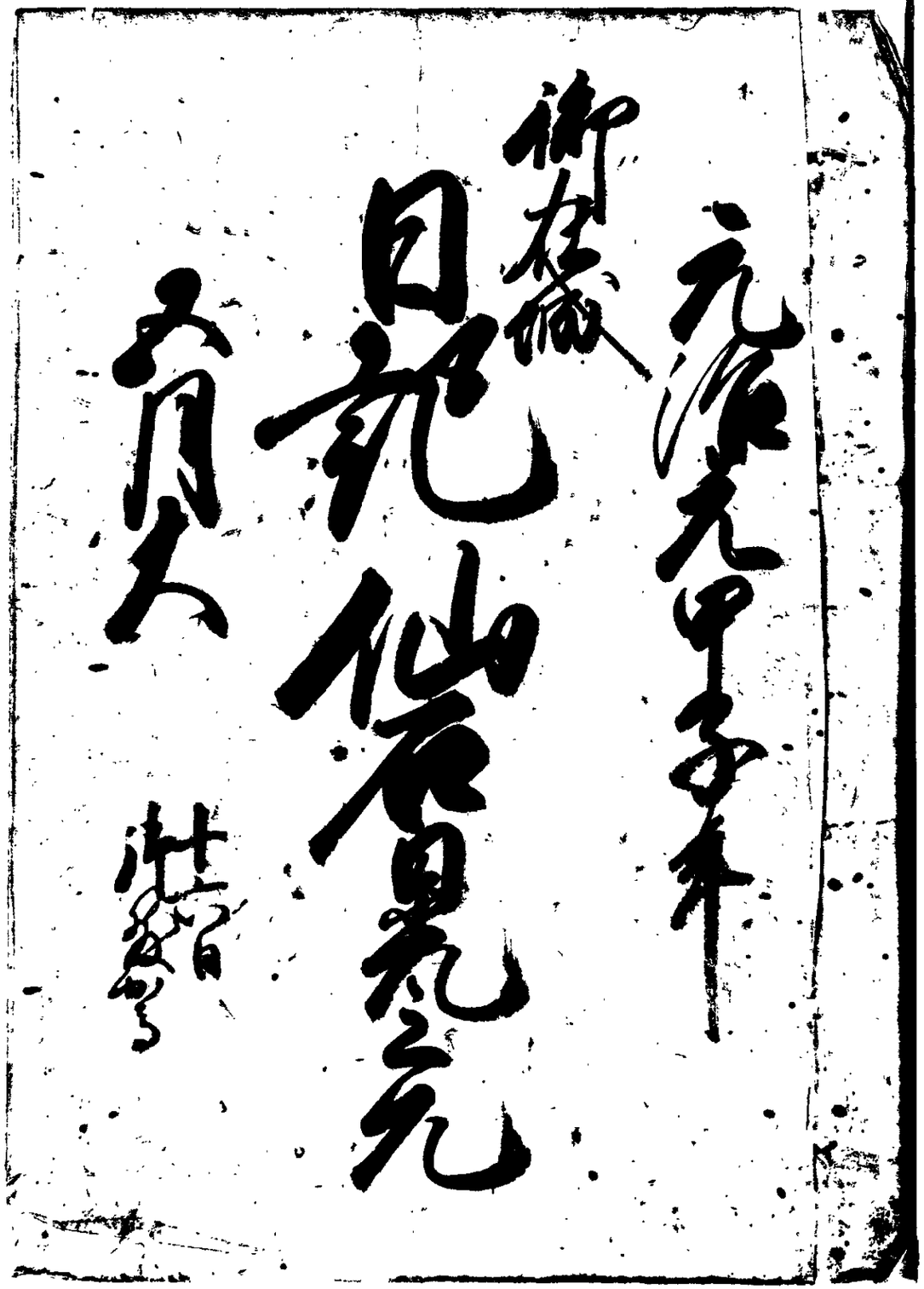
一請書　二通

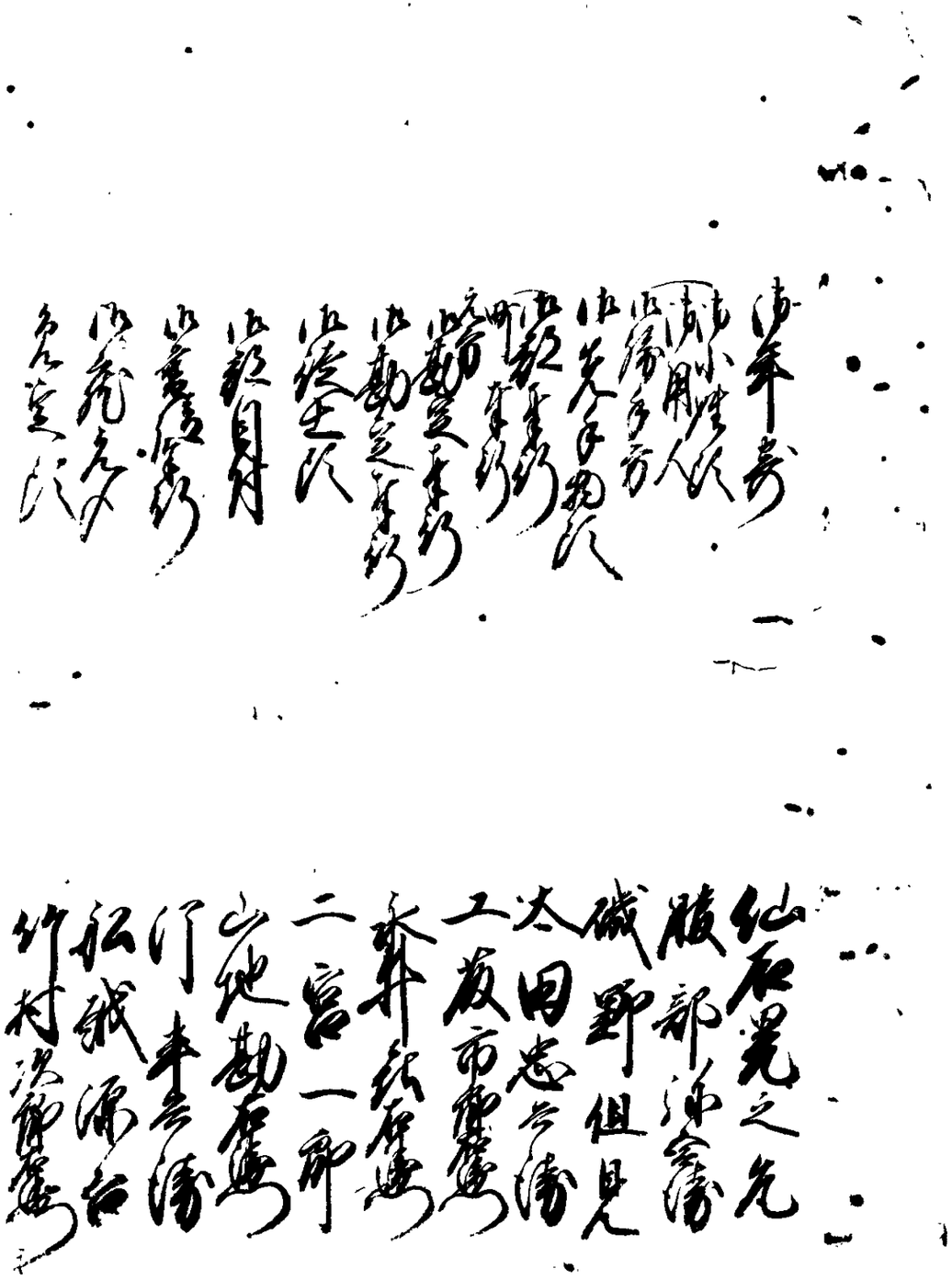
出石藩

御用部屋日記

元治 二年 五月

出石町公民館蔵





朔日

一幅奉納

岩倉公實記
宮内庁蔵

太田忠三郎
山地勘蔵
平川源蔵
先井平之助

誓書

一日曾

右今給御

信濃守殿

依用者也

右通申渡候

者

御用番

依用者也

十月廿日

信濃守殿

天気概況

一 錯 六日

一 御三方様ヲ伺候被仰付候事

同 黄門院様
御同方
御参内

一 春宮院様
御同方
御参内

一 女院様
御同方
御参内

一 御今朝未剋院参之事

一 御膳 御意之儀被仰出候事

一 今夜亥剋参内之事

一 御三方様御参内之事

一 御膳 御意之儀被仰出候事

一 今夜亥剋参内之事

七日

一 御用有之候間、明八日巳刻登城可致候事

一 御用有之候間、明八日巳刻登城可致候事

一 病気ニ付今日御断申上候

仙石織人

一 左近通ゟ 御用ニ付明八日巳刻登城可致候事

加藤靭負

一 右御同ゟ 御用ニ付明八日巳刻登城可致候事

書面ニ付

一 御用有之候間、明八日巳刻登城可致候事

書面ニ付

一 左近通ゟ 御用ニ付明八日巳刻登城可致候事

小林文蔵

八日

一例刻不待先生小酒上
一御奥様ニ御同道被遊御参会
一御通辺御作事方御用御掛

中村御奉行
勤方之通
御作事方御用掛

田中喜内
勤方之通

浅村左文
勤方之通

御普請方
小笠原
勤方之通

御普請役
根岸友山
勤方之通

御普請役
山地春木
勤方之通

御書簡寫

今月廿四日附　大樹公御諱
御実名御改称　御出仕の事

幕府より儀同右　皇國淺深為ての外
喜悦仍て御職掌の通御奉行御勤上下
遊惰の流を外夷驕暴為氏日本終に今日の
醫に相至るの歎息此事深く御胸
大樹上洛列藩と皇國是速に建言為し為別
歎息に堪ず　御出仕の義も有しの式度
遊の事加之朱政令一途と出人心疑惑と生候
ら候間　思召も御座候ば御職掌の通御勤の事
但國家の大政大義を綱　英國本国

右

御書簡の趣淺深為ての事に付家茂
公御進発の事に付諸侯を召集御談
被為遊候に付御勤の事

四月廿五日

御請

家茂

別紙

一横濱ニ於テ是非ト演港ニ第功ヲ為
奏上ノ事

但先書面ニ
而諭旨為奉
一海岸防御ノ義ニ付
備ノ事
一長列不容ノ儀ニ
而ニ兼帯相
朝廷ニモ
慮ヲ以テ
但先達テ
行出ノ通
之裏
書面之趣
相勤候
御沙汰
以上
行出ノ通今般御
摂政
藤原実美
脱字
相勤候一切
相当ノ
御沙汰
以上
行出ノ通
御沙汰ノ事
一当今必用ノ
異次第早ニ
御沙汰ノ事
右文ノ
ニ而
御沙汰
以上
行出ノ通

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
神宮に[illegible]
〃 [illegible]

一 [illegible]字平出[illegible]
[illegible]事

一 御[illegible]
一 仁[illegible]

[illegible]
石[illegible]
〃 [illegible]

一 大[illegible]
[illegible]
〃 但[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
〃 但[illegible]

十日

一汪表兵

一休日　十日

一御目見御儀被仰付候事

一御奥御右筆之内

一 御鷹之儀 御途中ニ而之御
咄ニ而も無之候
一 石場所書付之儀 御上ニ而御覧
被遊候ニ付 御差出ニ相成候
覚
横半橋 御休泊
高橋 御休泊
川口 御休泊

山田次郎左衛門
千尾作兵衛
長谷部半次
楊平八
他所出之人
江戸ニ而雇入
候事無之候

鷹匠
御休泊
方ニ而
御出之節
御休泊
方ニ而

鷹匠
御休泊
方ニ而

一明二日大祓ノ事
内々ノ事

同二日
少納言

大納言被仰下勅使
御発遣
御酒一献事
奏舞ノ者奉仕事

井伊掃部頭
奏任官壹度ノ
人数ヲ率
参賀
諸藩
同官ノ
御使
御酒
頂戴

時服ヲ
賜ル

同日
於御差支院
奏任官ヲ
以テ
勅使
御酒
頂戴

一 勅使
来七日参殿
御酒ヲ賜ル
旨仰出ラル
依テ
御請
奉上候事

六

永清宗室勤之后德舒 中條生考文
宣之曾 洋州知州 作銘
贈奉直大夫 仕至
祖考國光述
代金之於夏 仕至
杜平城西寺

一

一、議案

永井清一郎

一 肯付達

一 沖用人達

一 沖達中之趣

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

十七日

一 皆

一 御要務ニ付御目通願出候

一 大蔵権大書記官 佐野常民

右今般勅命被仰渡候

内務卿 大久保利通

一 松平越前守奥詰被免候

一 石井兵之助儀従来之通可相勤候

松平越前守

一 緒

一 御奥様ヨリ御用意被遊御持参ニ而

一 豊國公御年

御祭礼之節御饗応

一 明治廿年

元治元年

仙石氏人

一 緒

一 御奥様ヨリ御用意被遊御持参ニ而

小林又吉郎

渡辺豊蔵

中山泉庵

大米小作

一 劍先

一 御奥様ニ伺候被仰付之通

高山奥方

一

一 小性頭

長谷川藤兵

一

一 御先手

柘井熊一

退官

一 元帥府

右謹而奉
勅旨
退官仕候

江間人共

一 元帥府

右謹而奉
勅旨
復官仕候

依田重寿

一 元帥府

右謹而奉
勅旨
退官仕候

依田重寿

竹村十学
依田重寿

右同人

西村勇

佐藤秀雄

一休日

一御奥様江御見舞被遣候

一

一 元治元甲子年 [illegible] 九月 長州 [illegible] 今般 [illegible]
今般指令旦幕府一橋 [illegible] 諸藩 [illegible]
[illegible] 家茂 [illegible]

仕度

勅諚并御備 [illegible] 諸藩見込 [illegible]
重ね奏 勅旨并 [illegible] 調書 [illegible]
被 仰下 [illegible]

一

及 [illegible] 雄 [illegible]
重為 [illegible]
[illegible]

四月

松平大炊頭 支

[illegible] 御用十二箇条

一 癸丑墨夷 [illegible] 及我 [illegible]
今 [illegible] 被 [illegible]
[illegible]

第

右先書之外、勅旨幷
御下知之外、一勅諚之
事、仮令雖為文書、
無印・御判者、不可
有効者也

勅旨様并奏聞書、
仮令雖有印・判、
無
御下知・御判者、
同上

一

一日六月十日　家君所蒙中儀奏聞之趣、
御持帰之事、
右雑掌相尋申

先達長門宰相卿未
下知、仰出之趣、古川監物家光筆記并近
幕府之綸旨・御書列属之建議也、
当従幕府執達之条、政令一途之儀、
地之条々之事、
仰之趣、被

文ノ十一

出石藩
御用部屋日記
元治 | 一 | 年 | 六 | 月
出石町公民館蔵


元治元年甲子年
御用部屋日記
六月
出石藩

一　元年中納言大伴宿禰家持
　　兼一品式部卿兵部卿
一　元年中務卿新田部親王薨
　　贈二品

一　雅楽寮并諸国伝小歌竝古
　　柴垣歌舞等事
一　図書寮并諸国所献書籍
　　并公文等事
一　諸国戸口名帳并僧尼名帳
　　并寺院墾田等事
一　諸国正税帳并正税出挙
　　并不動穎利等事
一　諸国貢献調庸物并中男
　　作物等事
一　諸国交易雑物并廻易
　　及蕃客所賚物等事
一　諸国運漕雑物并陸奥
　　出金事
一　諸国兵庫器仗并鼓吹
　　幡旗等事
一　諸国公廨并出挙本利
　　并正税不動穎利等事
一　諸国官舎并駅伝馬
　　及伝馬牧等事
一　諸国官人考課并選叙
　　及禄賜事
一　諸国官人并百姓位禄
　　并季禄事
一　諸国官人并百姓位田
　　并賜田事
一　諸国官人并百姓身死
　　及解官去任財物没官
　　并流人財物事
一　諸国官人并百姓身死
　　及解官去任公私馬牛
　　并流人馬牛事

七日
十四日迄

一、第参條

六月中参

十七日

廿四日

廿八日

枢密院
祇問

商勧者

内務
農商
川下

一、第参條ノ通

依頼候

内務
農商

一、内閣ノ通

御勅諭ノ
内閣通信

御渙発ノ
趣旨ニ
基キ

内閣ノ

内閣ノ

内閣ノ

一 皆

一 御奥和御領被

二日

清同席佛寫

一實之清果

大圓鏡

今古四時無別法

清虛松溪清風沖

淸之遠

淸若壯懷同一遠

如月寺

一仏日

一

一

七日

八日

一 休日 九月

一 御用繁ニ付 御職掌御免被仰渡候 太田長吉

一 御用繁ニ付 御職掌御免被仰渡候 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一份 十日

[illegible]

一休日　十二日

一

一个
一

一

一

一

岡本武記

一

一

一

一

一

一 左通於秀府之右校
有馬中務大輔
石井玄蕃
一 左通於秀府之右校
用人
一 左通於同府甲仲
一 左通於秀府之右校
石井玄蕃
一 左通於秀府之右校
用人

十九日

一緒

廿一日

一緒

廿二日

六月

一件事情

一

一町奉行

一町奉行

川崎

一 [illegible]通[illegible]夫[illegible]
[illegible]
来符
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一金壹圓也

右者今般御用ニ付借用仕候処実正ニ御座候

明治十年十月

田中忠三郎

永井金平殿

出石藩

御用部屋日記

元治 | 二 | 年 | 七 | 月

出石町公民館蔵

元治元甲子年

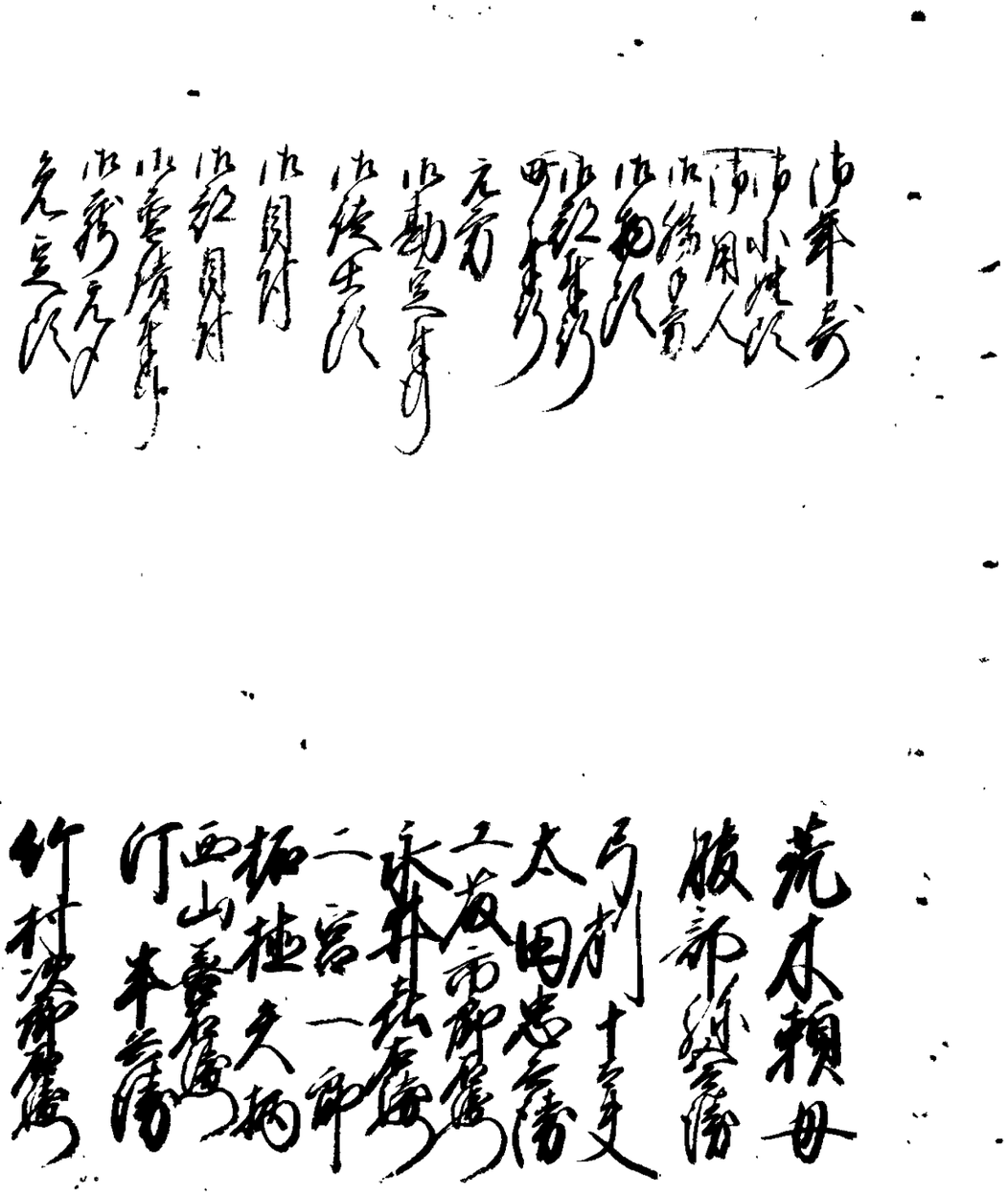
御留守日記

七月大

晦日

二百十日





六日

御条目
親類御
天盃御
恐悦
以上
右通
六月
佐村十学
佐田市馬

一日之通
御用番
御用向
行状
書物
読後
相成
天盃頂戴
御礼

石通丈

御着定之

一 左通市場へ公用往来之

御雪中之

御着前日

左通丈

御条

一 左通丈 御着前日

御雪中之節ハ人切ニ

遍市図実ニ

御着前ニ一定申候

月番

海辺焼払之

以上

西村勇

右同人

一

一日

一六月十一日

覚

一同月十二日浦賀奉行所ニ而

太田備後守

永井玄蕃頭

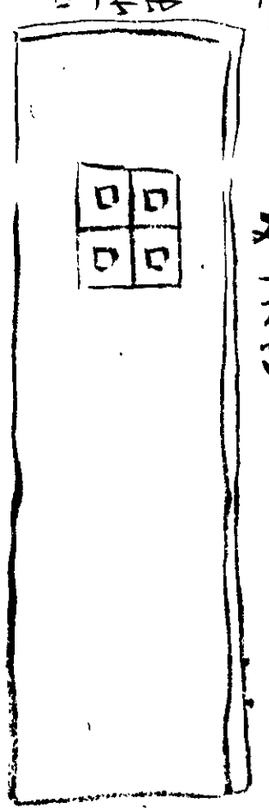
右之通申渡

同月十三日浦賀奉行所ニ而

一同月十六日

一同月廿日陰雨

長唐仮名町名大概



七日

九日

十日

一別荘　十日

一行興福

行間覚後綱

何半之湯

一蘭人遊

一蘭人遊

札幌氏
金之助

一蘭人遊

牙山澄次郎

福田治郎

松澤之進

退席

七月廿日

一 右 [illegible] 仰付置候処 [illegible] 出勤 [illegible] 届出候間 [illegible] 申渡候事

一 右 [illegible] 仰付置候処 [illegible] 出勤 [illegible] 届出候間 [illegible] 申渡候事

一 右 [illegible] 永隆寺 [illegible] 地蔵尾 [illegible] 移り候間 [illegible] 申渡候事

一 右 [illegible] 永隆寺 [illegible] 地蔵尾 [illegible] 移り候間 [illegible] 申渡候事

一 右 [illegible] 仰付置候処 [illegible] 出勤 [illegible] 届出

一、左ノ通

岡本清蔵
植松左衛門
太田田鶴雄
谷野與惣
白井儀助
本間巡査
永井源蔵
村山英次
西川留吉
深井小市

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 鹿皮 壹枚 [illegible]
但小皮共
一 長柄皮鹿 壹枚 同 壹枚
但小皮共
右舟役被 [illegible] 員令負前
但被出役之節神事 [illegible]
一 跡家 壹軒 程能
一 跡家 壹軒 [illegible]
右通法度之

一 人数 [illegible]
但 [illegible]
一 覚

右通法度之

[illegible]

一、

一律各

延諸

七月一日

一 今朝清輔参内仕奉書記到来 兵部権大輔藤原朝臣清輔奉

清輔ノ代ニ蒙 仰ノ旨ヲ留守居ニ告ラル

一 今日通憲入道来 通憲入道来ル

唯今 清輔ノ家ニ書写ノ為ニ預ケ置ク所ノ

驚キ存ジ候ハヾ 清輔ノ代ニ蒙 仰ノ旨ヲ留守居ニ告ラル

七月二日

稲垣庚門

一 今朝清輔ノ代ニ兵部権大輔藤原朝臣清輔奉

清輔ノ代ニ蒙 仰ノ旨ヲ留守居ニ告ラル

一 今朝清輔ノ代ニ兵部権大輔藤原朝臣清輔奉

清輔ノ代ニ蒙 仰ノ旨ヲ留守居ニ告ラル

右同断

右同断

内

七月

一

一尺通小貫村

下物ヲ列十文
河鯉弐匁
鯰四匁

有
小貫
代金弐匁
但子牛之弐匁

河鯉弐匁
鮫弐匁
鯰四匁
水木志ノ卸
上々吸物壱通
上壱人ニ通
肉木ノ類ニ
河魚
小川修理

浅村百石
赤尾左助
森左治
小林友蔵
浅沼小市

水原忠衛
岡本源吉
河龍次
小川松衛
赤尾左之助
仙波政吉
与藤次衛
池内友次
小林吉蔵
中村定吉

報告
一柳満次郎
波多勘蔵
工友市之丞
上原亮之進
浅村万右衛
米井左衛門
佐藤政吉
池内友次
小林吉

一

松平能登守
松平摂津守
永井肥後守
脇坂淡路守
松平安藝守
松平三河守
板倉周防守

松平相模守
阿部主水頭
有馬中務尉
松平阿波守
松平伯耆守
松平左衛門佐
松平出羽守
細川越中守
天平大炊頭
小笠原大膳亮
伊達遠江守
松平安房守

南門前
同東
同西
中之貢
公家前
乾門
於平門西
今門
同外
樓之辻
於平門前

妻戸組
真田信濃守
水野伯耆守
松平安房守
松平越中守
松平修理亮
井伊掃部頭
宗門中務大輔
松平豊前守
中川修理亮
松平右京亮

屋根
渡廊
當番所
同前
日華門
同南
同門
御番所

松平阿波守
松平土佐守
大久保加賀守
稲葉丹後守
庭燎中間
紀伊殿
小納戸
溜之間

一 三月二十日 仰出

長別當(法)

出家(仏門)

平(清)盛源瀧(聖)

福原(京)

御(返)

出家(仏門)

清(請)盛(有)

一 六月二日 水野(川)

去(ル)七月(ノ)

曲(ケ)

出石藩
御用部屋日記

元治 二年 八月

出石町公民館蔵

一

元治元甲子十一年
積善院殿慶室妙餘大姉
八月廿

退學

右者頃日
殿様御巡
行御所
御意ニ
仰渡候
趣承合右同人
西村勇
河野弥惣馬

七月十一日　稲垣彦門

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右謹奏聞以聞

同月十二日

右弁官

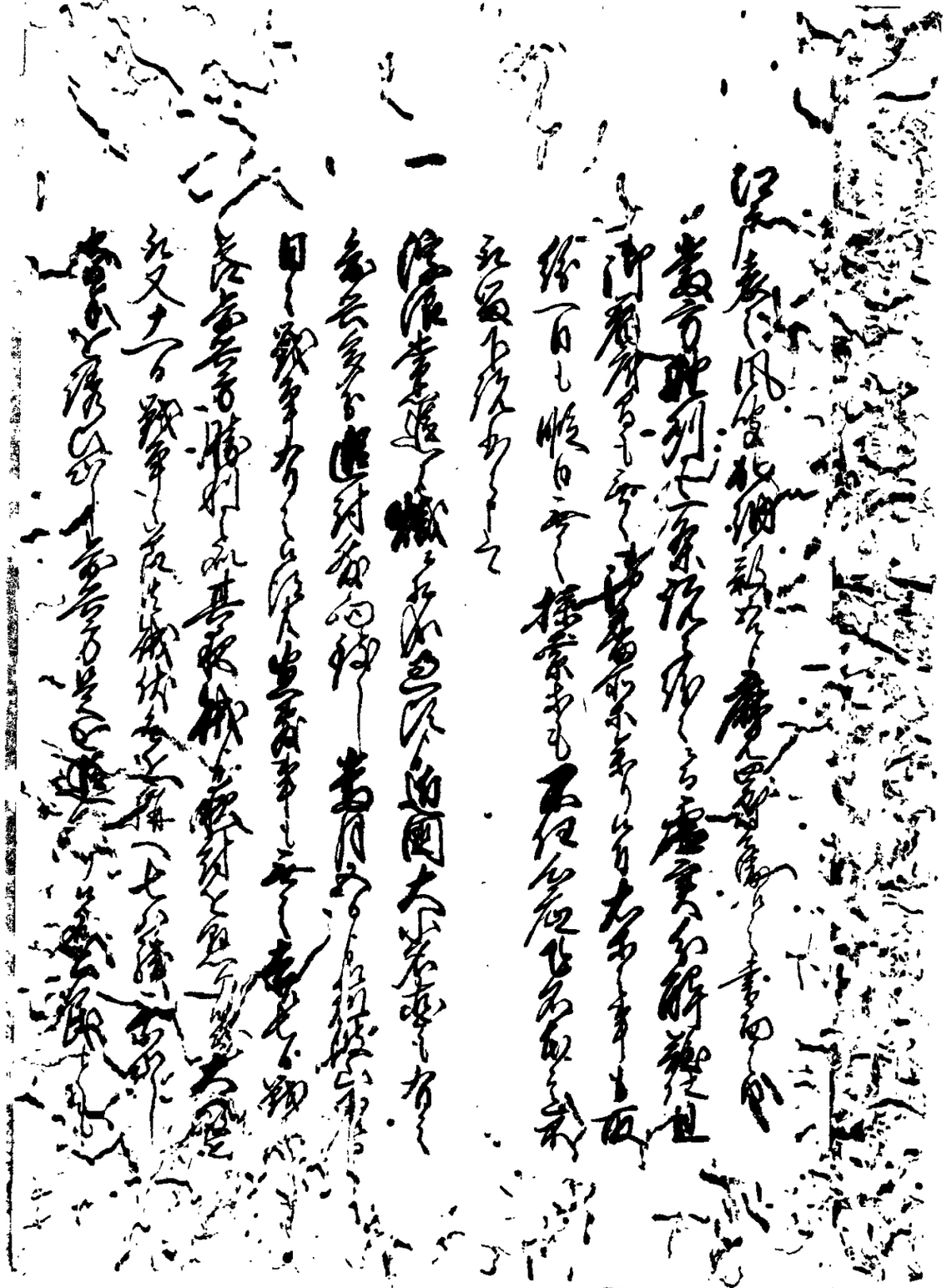
右大臣宣奉勅依請

同月十三日

右弁官

従三位行権中納言兼左近衛大将皇太后宮大夫春宮大夫侍従如元





水戸車両

十一月

一 [illegible]

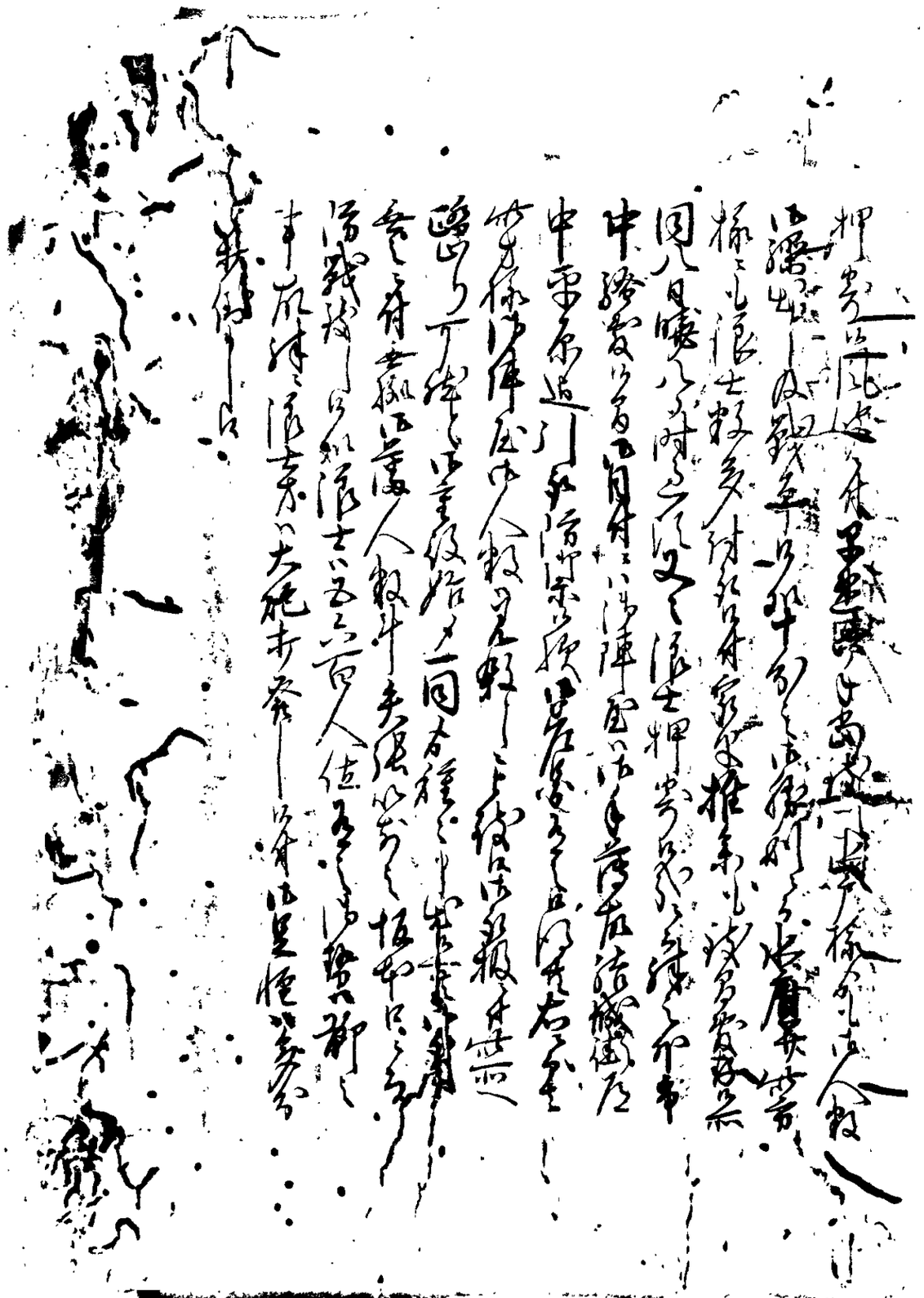
一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]



…使を以一筆路上仕…
…菊表上下一統…
…の風評…
…左ヲ上ル…

一 六月廿日小山宿午時出会四…
…發し…頓主候發し…
…今交迄…
…布き要路に護衛を設け備を…
薄クシテ城徒を恐るゝの色…
…し来着を候ふ…
兵隊を率し…
要地を…
…大隊ナルモノ撒兵を…

中隊と…砲を門際…
…道…
城徒進發し報告ゆり…
裸省し…
吾ら隊を…
有江迄…
…進上城詰…
…隊撒兵を…
…洞下ル…
…又進行し…
…告ゆり城際…
…下ル…
甚馬…

永野ヲ城下
井上ノ
下妻ヨリ
…
…
…

才四中隊は白花を門
城往河を越来るし街と平明と及び監察両尾も亦遅
と発約せんと告ぐるや志剣公軍監小倉久保田壱次郎
と命じ監察官と共に発約するを報せしむ
監察官をつくや花堂教えて起り村民来四奉
城徒使一来るし城徒防
援度云々陸を伝ふて来るや有司血戦して城徒防
を保と堅塁と営と杜門
城も亦援戦を此営の薄弱なるを知て終夜
毛く此を焼発一てて終夜を防御」を守つ事数十人
附属と下有司須臾長十郎教えて懐戦して刀槍を
人と於て逢ふ頭上を傷ふ者多一終夜を指揮しく
退く城徒一勢多一監察防き進ふ事能く
終大堂実と及ひこれ〳〵厄糟となり遂に防戦を

破る者数十人死傷若干水府病院に収容
る此際刀創を被る者二十余人軍司令官山岡少将も亦
軍司令官山岡少将も亦十余人も死亡
種と土府伝えられ十分と上ふ
勿論なり

七月

久保田忠次郎

十日

十日

出張

一今日長府藩より対州へ通信使
江関ヲ経ル候
一通信使ヲ長府通行ノ節
門司ニ而相詰居候
相役ノ小普請ヲ外ニ
一此度通信使ヲ通行ノ節
江関ヲ経ル候

一亜墨利加
一亜墨利加
一英吉利
一英吉利
一魯西亜
一魯西亜
一仏蘭西
一仏蘭西
一和蘭陀
一和蘭陀

一亜墨利加
一英吉利
一魯西亜
一仏蘭西

一使者
用件兼
見
右数
一書類

一人
増額新古
人を人

西川村家
高橋治作
竹村十蔵
人数人

一鍬
大統領
玉薬有之荷

玉薬箱
玉薬有之荷

一人
増田順三
鳥居清右衛門
清久兵衛

一人
西山周助
渡邊新一郎
菊川慶兵
西川作七
平尾男大

一 祐筆
使番 四人
一 医師 四人
一 山伏 六人
一 薩摩隆雲
金子玖高
大小 弐人
此軍夫 弐拾人余
一 騎馬
壱疋 壱荷
薩摩守御家
離其 長持 弐荷
一 歩行
中村幸助
壱荷

右通知書

[illegible]

七月廿日

[illegible]

稲垣康[illegible]

[illegible]

八月廿一日

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 子七月廿四日 和泉守宅ニ杉本大隅守家来ヲ召
和泉守書付

家来福原就後始墨ヲ之者大出頭有之候
ニ付其ヲ撰原就ヲ始墨ヲ之者大出頭有之候
朝廷ヲ之儀不顧候ニ付感心ニ候
朝廷ヲ之御対
天朝深恩ヲ忘レ

一 子七月廿四日 和泉守宅ニ杉本大隅守家来ヲ召
和泉守書付

杉本大隅守

杉本大隅守

杉本長門守

同 又ヲ

一 同廿四日和泉守宅ニ杉本大隅守家来福原就後始墨ヲ之者共

毛利大蔵元
毛利淡路守
毛利摂津守

出頭可致候
朝廷之御評議
皆勿論　朝廷
天朝深恐入候事
右　仰せ出され候事

一同廿四日和泉守殿
松平大膳亮殿
伊達左京亮殿
家来

一

松平大膳亮殿
家来
急御召寄可被遣候
以上

松平出羽守
大隅守
同田加賀守
福岡甲斐守
右之通被仰出候事

同文言

松平大膳亮殿
家来

右大臣一拳
勅答 右仰行他人可
右大臣一拳
勅答

侯令難之雖常侯言
勅答 右依奏
江淹者以上六条宰相
勅答

有栖中将卿
同 帥文
大納言
兼明親王
中山大納言
右大臣
勅答 安排

諸司奉関白
同 大納言
中山黄門

七月廿七日

光有

一 紫
一 浪
一 磐手川
一 八幡
一 男山
一 松尾
一 大原野祭

一 同八郎座衛門尉

一 伊豆山蔵廊坊中出雲

一 長府同心

一 吉川監物蔵廊坊同心

一 伊賀守殿御内

一 富樫左近将監
一 同次郎左衛門尉
一 稲葉伊予守
一 永井兵部少輔
一 加賀左衛門尉
一 同弥五郎
一 同八郎左衛門尉
一 同孫四郎
一 伊豆山蔵廊坊中出雲
一 松平安房守
一 松平淡路守

一 吉川監物蔵廊坊同心

一 松平安房守御内
一 酒井雅楽頭

清末八月

一

今般長崎進發
仰出候間可申動靜旨被
達候事

但大坂ヨリ被
仰付候節ハ此限ニ
不及候

一

從來於
朝廷有之候書籍類ハ勿論
諸藩ニ而自然所持
候書籍ニ至迄不殘
可差出候事

七月廿二日

阿部豊後守殿
安藤對馬守殿

徳永主稅
松平大膳亮

一

松平大膳亮家來
於大坂十年以上
勤功有之候ニ付
苗字帶刀差免候事

七月廿二日

阿部豊後守殿
安藤對馬守殿

徳永主稅
松平大膳亮

有司等ヲ以テ無作ノ
ヲ以テ大名一次
有ノ
集十二家ヲ召
或ハ卿ヲ
十二日又
七月七

井手村
立山
[illegible]
[illegible]
[illegible]

御免下さい
川柳先生
八月二日

三 中軍 後備

一 二 三 先 満邊守 中軍 後備 軍

濱田 別室 長 大隅

廣島 福山 後備 第 仙臺 歩兵 第 旅團 長

一 旅團 大坂 兵 第 一 聯隊 戸川 歩兵 中佐

中川 歩兵 少佐

長 別 兵 出 部 兵 者 仲 人 数 指 揮 在 営 者 一 精 兵 庫 本 選 抜 人 之 如 き 者 一 名 出 之 事 仰 付 候 事

休日

右近衛中将従三位兼行春宮大夫陸奥出羽按察使
源朝臣顕房

右近衛少将従四位下兼行播磨守
藤原朝臣実行

右近衛権少将従四位下兼行伊予守
藤原朝臣通俊

右近衛権少将従四位下兼行備後守
藤原朝臣経信

右近衛権少将従四位下兼行備前守
藤原朝臣隆方

右近衛権少将従四位下兼行丹後守
藤原朝臣為房

右近衛権少将従四位下兼行美作守
藤原朝臣宗俊

右近衛権少将従四位下兼行但馬守
藤原朝臣信宗

右近衛権少将従四位下兼行備中守
藤原朝臣為隆

右近衛権少将従四位下兼行伯耆守
藤原朝臣宗忠

右近衛権少将従四位下兼行播磨守
藤原朝臣宗通

今日本年
家務馬
在巻
宅
月

一 休日

一 休日 次日

一 休日 次日

一 鉢日 女二日 一

一 別荘

一 貸家 作間壹反歩

一 反畝 畑方 壹反歩

一許多勲臣の内富貴を享ぬ藏人之頼平
而已
○閑院殿　醍醐殿　正親町殿
庭田殿　雅俊殿　八條殿　裏松殿
竹屋殿　豊岡殿　舎人殿　第舎殿
葛老殿　唐橋殿　小宮殿　三室殿
石山殿　外山殿　日野殿　烏丸殿
○勧修寺殿　穂波殿　冷泉殿　冨小路殿
大宮殿　東久世殿　晴富殿　勧修寺殿
小川殿　綾小路殿　葉室殿　清閑寺殿
柳原殿　万里小路殿　竹内殿　坊城殿
押小路殿　高倉殿　日野殿　広橋殿
○右凡九十一家

一七月三日三條橋梁并堤修理
併法師浦に関所を置
津関へ令す
厳重たるべし

一松平大和守殿并源侯
一勅使を以て御尋有之
恭悦の旨勅答
一勅使を以て御尋有之
謹而御請申上候
一松平大和守殿并源侯

八月

荒木類次

荒木頼母

一

一休日　　六八日

一清真拉ん何ん拗ね

一休日　十九日

一市長奥和市民意見

一土取条例第二百条乃至第二百条ノ四ニ依リ土取ノ許可ヲ受ケントスル者ハ市長ニ申請シ其ノ許可ヲ受ケ

一引続キ条例ノ施行ニ関スル件ヲ議ス

一竹田区長ヨリ区会ヲ開キ度キ旨申出ノ件ヲ議ス

一知事ヨリ県会ヲ開キ度キ旨申出ノ件ヲ議ス

一　例刻出仕

一　諸奥詰諸向之儀

一　石田

一　右之通申聞有之候

書面之通申聞候間

右之通申聞候

一

一

一 右之外書留之儀ハ
是迄之通ニ候事

一 来ル二日
積荷改掛之儀ハ
是迄之通ニ候事

一 御蔵前ニ而
日光御神領之御廻米
是迄之通ニ候事

一 御蔵前ニ而
御廻米ニ付
差紙之儀
但御蔵前ニ而
御廻米ニ付
差紙之儀ハ
是迄之通ニ候事

一 町奉行
書役年番之

出石藩

御用部屋日記

元治 | 二 | 年 | 九 | 月

出石町公民館蔵

元治元甲子年

御用部屋日記

九月朔

一 例刻准 朝日

一 作興稱

作周覚後例

蒙表書表

一 士稱當法依據公開人之

一 今朝作成通

公益者之判中通

一 先月法案中公

表一定之法開人お通

一 先月中法施表表通在法務お名成

今月中法施表表通

一 同法開始日表

公示中通

一 方通告 作表法開始前日

一

一小林氏遠

一二度通帳之事

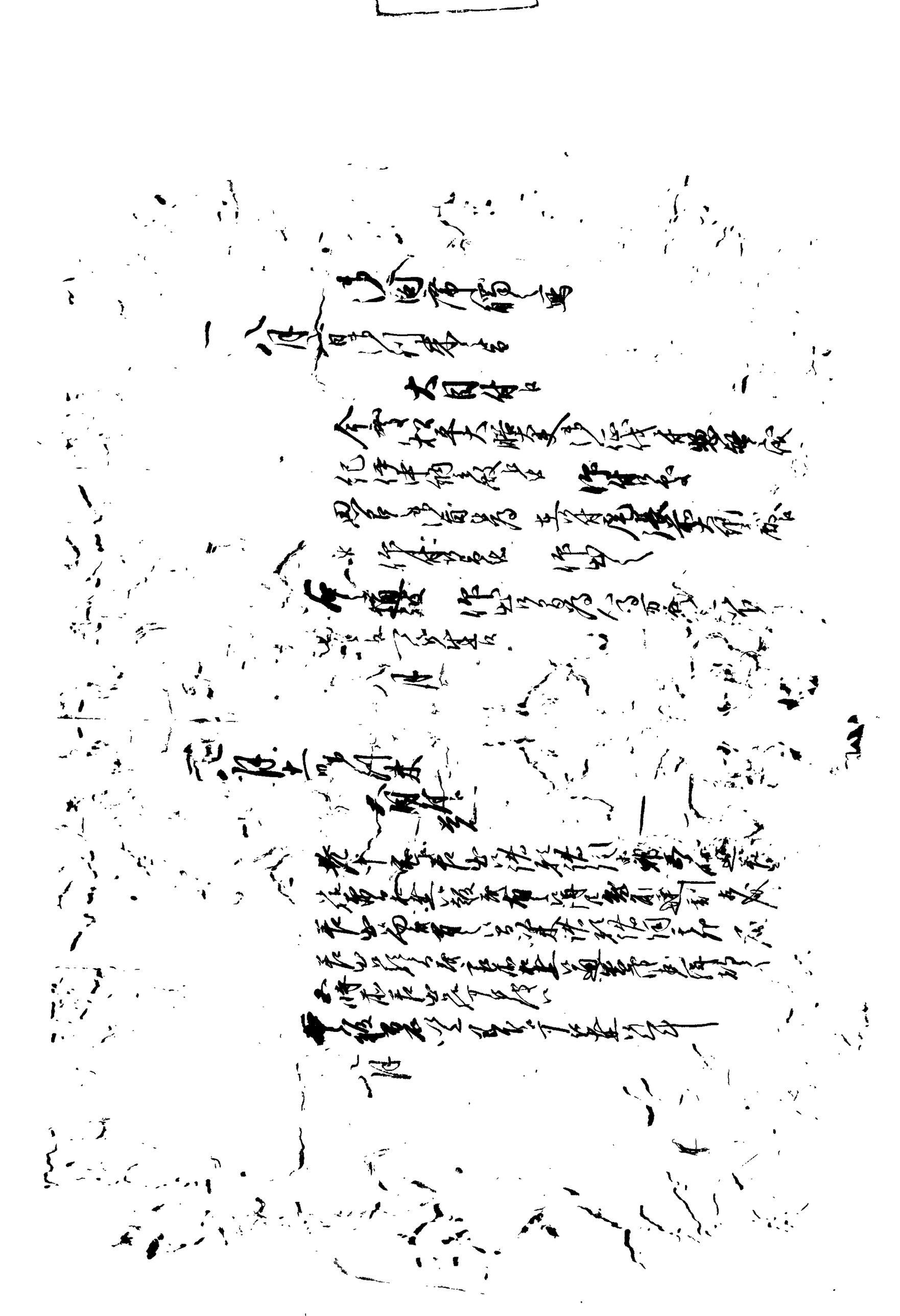
一四月八日

一

一

一

私儀忘中陳成仕付其服務仕書
番士之儀仕仰可使候奉存候
八月十二日



七月廿九日長州
家来ヨリ頼之助

元治元年
子八月九日

覚

一七ツ人
　内ニ子人上面来ル
一弐ツ人

右松平大膳亮支配領浦賀へ
　差遣し候ニ付
　人足
　伝馬
　　御触出ス

萬人足
麻布詰七ツ面来ル
萬人足
伝馬出ス

右松平大膳亮支配領浦賀へ
　差遣し候ニ付
　人足
　伝馬
　　御触出ス

一弐ツ半　雲来
　　合弐ツ半
一小浜　藩六艘宿ス

一弐ツ半　雲来
　　合弐ツ半
一小浜　藩六艘宿ス

右武大面来ル
一雲来　弐艘宿ス
一八入　七ツ

右武大面来ル
一雲来　弐艘宿ス
一八入　七ツ

一浜田藩松平侯也
一小浜　藩六艘宿ス

一浜田藩松平侯也
一小浜　藩六艘宿ス

一休日 二日

十日

一例刻無

一御奥様御帰館御見送被仰付候ニ付御供

一清開人足

書面

渡辺善右衛門

久保伝蔵

一清開御用ニ付御長刀御持被仰付候ニ付御供

一屋敷通ニ而乗打候ニ付

七ツ半時御帰館ニ付御長刀御受取

不取早速御長刀御受取

書面

渡辺善右衛門

久保伝蔵

一休日　六日

七日

右之通一通取
大組重役何も先
勤勉ニ相
人数相
勤勉相
り雑煮
二日昼前ニ

八日

一例刻之仕
一清奥様ゟ清同
参る
一左之通被清聞候趣被仰渡候

一

一、休暇ハ左ノ通リ與フルコト

一、休暇ハ左ノ通リ與フルコト

一、休暇ハ左ノ通リ與フルコト

十二日

一 道路橋梁ノ修繕ハ時宜ニ依リ
其ノ
一 宗教ニ関スル事
一 警察ニ関スル事
一 衛生ニ関スル事
一 学事ニ関スル事
一 戸籍ニ関スル事
一 徴兵ニ関スル事
一 国税ニ関スル事
一 地方税ニ関スル事
一 諸税ノ賦課ニ関スル事
一 諸税ノ徴収ニ関スル事
一 諸税ノ滞納処分ニ関スル事
一 諸税ノ免除ニ関スル事
一 諸税ノ還付ニ関スル事
一 諸税ノ減額ニ関スル事
一 諸税ノ追徴ニ関スル事
一 諸税ノ督促ニ関スル事
一 諸税ノ延納ニ関スル事
一 諸税ノ分納ニ関スル事
一 諸税ノ繰上ニ関スル事
一 諸税ノ繰下ニ関スル事
一 諸税ノ過誤納

一休日　十二日

一御奥様御実家へ御見舞ニ被為遊御出門候事

一休日　十四日

一御奥様御実家へ御見舞ニ被為遊御出門候事

十六日

通路

陸路飛脚
石国城政
東方
山口ヨリ
攻来ル

松平安藝守
板倉周防守
真田信濃守
阿部豊後守
松平伯耆守
板倉内膳正
松平近江守
三浦佐渡守
板倉勝清守
加々爪甲斐守

海路国々
港ニ着ク
日ヲ
記ス

松平下野守
同 侯守
松平安藝守
伊達左京亮
松平宮内少輔
侯守

水野采女
脇坂仲
堀丹後守
大

軍日記

陸路飛脚
萩城ヨリ
山口ヨリ
日ヲ
記ス

松平左金吾
向井左門
小笠原諸
侯使者

松平越中守
細川越中守
小笠原大膳亮
小笠原迫
小笠原壱岐守
太田

松平出羽守
松平大和守
毛利甲斐守
松平三河守
同 出羽守

松平兵庫守
松平紀伊守
小笠原信濃守
侯使者
多賀敬順

軍目付　有馬左源太　松平佐渡守　松平美作守　使者　同苅谷小源太

軍目付　曲淵勘解由守　宗対馬守　使者　松平伯耆守　同大炊頭　名代　小浜左京亮

惣大将　尾張大納言

副将　松平越前守　　福井宰相

右備　御国本

作事奉行　山崎

軍目付　松平右京亮　名代　同久左衛門

八月十日

一　松平右京亮　名代　渋江内膳　世継山ニ而　水戸殿領分同志　潮来宿ニ集ル　同日　佐原村ニ人数ヲ納メ　翌朝ヨリ　行軍ニ而　小見川ヘ着陣　同夜　横田甚右衛門　迄ニ而　退陣　翌朝　同所ヲ出立　同夜　本陣ニ着

一八月廿一日沙汰衆

覺

長井飛騨守
長井兵部少輔
成瀬隼人正
窪田備後守
永井尚志
永井玄蕃頭
林式部少輔
江戸町奉行
江戸南町奉行
江戸北町奉行
勘定奉行
勘定吟味役
目付
大目付
大番頭
小十人頭
寄合
表右筆組頭
奥右筆組頭
奥右筆
奥坊主
小普請奉行
作事奉行
普請奉行
小普請組支配
書院番頭
小姓組番頭
新番頭
小納戸頭取
留守居
大番組頭
西丸留守居
駿府城代
駿府町奉行
長崎奉行
堺奉行
大坂城代
大坂町奉行
大坂定番
大坂加番
大坂城代
大坂町奉行
大坂定番
大坂加番
京都所司代
京都町奉行
京都守護職
京都町奉行
京都所司代
京都守護職
京都町奉行
奈良奉行
若年寄
若年寄並
若年寄
若年寄並
側衆
側衆並
側衆
側衆並
側衆
側衆

松平大膳大夫
門代
門進発ニ付供奉ヲ通
上ル
作有

右ハ美蓉之間ニ而
立花出雲守作有

一

溜之間
菊間縁頬詰
小栗下総守
遠藤但馬守
青山下野守
溜詰
堀田相模守

二丸雲梯門開
作有

御使番
小俣権大夫
池野小藏
依田佐渡守
力石勝助
田沢仙助
右田保之助
御徒目付
熊田八十郎

八月十四日

杉本武邦太郎

右之儀承度旨申出候ニ付御用之儀有之候間
御出頭可被成候以上

八月十四日

書院番頭

杉本武邦太郎殿

右之通被仰渡候間可被得其意候

八月十五日

杉本武邦太郎

八月十五日

御用之儀有之候間明十六日四ツ時御用部屋
江可被罷出候以上

八月十五日

大井出羽守

代理

伊奈備前守

川路律蔵殿

右之通被仰渡候間可被得其意候

八月十五日

川路律蔵

代理

伊奈備前守

八月十六日

御用之儀有之候間明十七日四ツ時御用部屋
江可被罷出候以上

八月十六日

水戸中納言

右之通被仰渡候間可被得其意候

八月十六日

川路律蔵

代理

伊奈備前守

八月十七日

御用之儀有之候間明十八日四ツ時御用部屋
江可被罷出候以上

八月十七日

水戸中納言

右之通被仰渡候間可被得其意候

八月十七日

川路律蔵

代理

伊奈備前守

別紙

落山一竹

今晩七ツ半頃迄ニ
田宮村ニ出張ス
卓二日同断
一下総佐倉十六日
江戸人数
一二月十六日佐倉村ニ

一萬八千余
一定度　一鉄物
一判木板　又　二　木綿風呂敷包　一
史料　二　一両傘　一
一雑物入弁　一

布通寺庄屋

九月四日

今般野良泊村
御代官様御支配ニ相成候ニ付
御触状写壱通入牧差出候ニ付
御請書写壱通入牧差出候ニ付
右御触状写
御請書写
一通ツヽ
差出申候

松平周防守

九月晦日

布通寺庄屋

今般野良泊村
御代官様御支配ニ相成候ニ付
御触状写壱通入牧差出候ニ付
御請書写壱通入牧差出候ニ付
右御触状写
御請書写
一通ツヽ
差出申候

松平周防守

九月晦日

布通寺庄屋

今般野良泊村
御代官様御支配ニ相成候ニ付
御触状写壱通入牧差出候ニ付
御請書写壱通入牧差出候ニ付
右御触状写
御請書写
一通ツヽ
差出申候

松平周防守

九月晦日

布通寺庄屋

一米九枝康
一大把木筒
但二挺拳骨

一張帆
但小筒
大把木筒

一合薬
一嚊石
一挺
一把

一馬
一疋

一有名
一枝竹大小二隊
一本
一枝堂
一挺
一挺
一挺
一足

松平周防

同
清泥大袋
子汲
工事伊予侯
佃谷宮脇

松平
楊津昌房

別帳

存
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]二日常利庵[illegible]郎[illegible]村[illegible]
[illegible]押[illegible]
[illegible]村[illegible]
[illegible]同郡[illegible]
[illegible]
[illegible]

門多聞
若迎
御使
眼若
少待
長等斗
梅多分
猫若
猫若但梅ヶ
子供ホト
長分
徒
門狗斗
警告敲
ホヲ分
庵ル
警告爾
月朋
少ヲ
待
歸聲
力皮
黒犬ノ

芦野正吉

一百姓家之人数之多寡等

八月

北門会

一 去月十八日夜松影
候不遠之事
相発候間
信濃
中候
去月
為
一 去月
為
候
一 今般
候
信

一條中納言

二条為重代筆之歌合

詩歌

國家累代多殺逆者頼
朝廷二十四年安幸平治
禁闕無事

一 高張灯 壱張
一 提灯 四張
一 陣太鼓 壱
一 面 壱
一 大縄 弐

一 御用状箱 壱棹
一 陣傘 壱本
一 鉄砲 弐挺
一 弐人 合羽

一甲冑一領 拾
一太刀一振 少々
一金二両

一甲冑札
一鎧直垂一領
一弓矢并用具 一式

一鎧直垂 一領
一馬 一疋
一折烏帽子 一頭

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一鎧直垂 一領
一馬 一疋

一小花生　二箱
一硯台　壹　一面
一徒肉箱　二个　一架
右之条二百枚領收畢

新撰組

一口 茶 一服 一膳 一箸 一膳 一椀 一膳 一箸 一膳 一椀 一膳 一箸 一膳 一椀

七月十九日仰暁鐘前ニ一番ノ人数繰出シ暁明ケ門
外遠所ノ者ノ先ヲ町通間所ニ番通リ高ク
鐘ヲ二十ヲ打ツ同鐘ハ九ツ町通リ後ヨリ来ル仏柳ヲ場
第通ノ大筋ヲ教ヲ持ヲ右ノ如ク
右ノ通リ教ヲ仏柳ヲ場
ヲ通リ教ヲ仏柳ヲ場
ヲ通リ教ヲ仏柳ヲ場
ヲ

一八月廿日兵庫ヲ通過書ヲ

一、休日　十七日

一、御奉行所御用番

一、休日　十八日

一、御奉行所御用番

十九日

覆

今度諸大名参勤交代
仰出され候
当時在国之
面々

一左通市田屋運義第五菊屋奎

山田状渡
中城段
神保佐渡
柳間
間幡
剣谷
佐渡
市通達
佐渡
間幡
市通
市岡
岡
市岡

九月二日

発覚依頼
福嶋清
保志摂津国
東井恭蔵

子七月開戦慶応庚申ニ仰渡ス有司
我
神功皇后ノ御事蹟ハ既ニ
仲哀天皇紀ニ詳ナリ
東照宮二百年ニ当ル
浴ス一ノ未代ニ
関ケ原ノ危急ヲ救ヒ
補佐ノ功ヲ天地ト大源ヲ
配祀ヲ
仰ケリ
天祖天孫ヲ
奉ル
開闢ノ恩波
仁ノ春方今天下
同倫両ナ
仁川ノ教
蒲牢ニ大義ヲ立ル
駿府ニ駐蹕
変動ヲ
陣中ニ
御武威
御仁徳
御教令ニ
乗ジ
法令ヲ
自己ノ
大張
異論ヲ唱ヘ
此度ヲ
開国ノ今日ニ
有志ノ者
ノ

合衆國水師提督

一

一　下関支店

一　山口支店

事務取扱

一　萩支店

事務取扱

一　広島支店

事務取扱

一　本店ヲ広島ニ移ス

九月一日

大蔵大臣　松方正義

可否ノ決ヲ天皇陛下ニ奏請ス

主任国務大臣　伊藤博文

長州

備前

薩摩

一休日　廿日

一

一日 晴

一　別紙之通
一　御屋敷御門番人
　　之儀
一　万事通之作法等
　　御門番之人数
　　之儀
　　人数持之内
　　当番之組人
　　組頭
　　勤方之儀
　　其外御屋敷之
　　作法等
　　御門番
　　日通
　　御門

一　御書院
　　御玄関
　　之儀
　　御書院御門
　　作法等
　　御書院
　　御玄関
　　之儀
　　御書院御門
　　作法等

一　御廊下
　　御縁

生田



一 休日

一 御奥御小姓 女中

三宅流 芳澤仁藏
来軍流 渡辺新之丞
来軍流 西川幸之進
鏡新明智流 西川八十之進
西川蜀山人

三宅流 芳澤仁藏
来軍流 磯野淨次

一 御門番之者共 御番所前 御番之者共 御供方之者共 御厩之者共 御台所之者共 御庭之者共

三宅流 芳澤仁藏
来軍流 前田善藏
渡辺丹小介
石野熊之助

石井參謀長殿
平川參謀殿
岡部連絡殿
齋藤小平
瀬戸久十郎
河野雲鳥

鏡新明流
柴谷
小太刀
西川兵衛
井上半造

中島彦十郎
白井鐵藏
岡本津盛
中村須賀
樋口源之助
井上半造
西川兵衛
大石小平

一 今日松平中務大輔殿
農商務卿井桁順
二被仰渡候旨ニ
松平越前守
越前守 今日
陸海軍大臣
為替
御出
御

一安徽省

一休日

一

二女儀急病之報ニ付
當年當春
為當女參詣
不得已事ニ
之報知仕候ニ付
小島四郎

一

中津

一四月八日

一　御表書之外
殿様
奥様
大国屋十七

追啓

一　九月廿日
十月廿日　　服痛ニ付
出勤仕候事ニ
相成候ニ付
不参
届出候

一　藤中ニ付
伯母ニ引
七五三ニ付
今ニ
一　九月十二日　　加納新吉
小山当分
一　小山当分

一　吉通家中
例年ニ通ニ
家ニ付
作出ニ付
一　吉通家中編書
加納年ニ家中
作出ニ付

九月十一日

一　京頭書記用人金兵衛

一　京通市用商牧野傳蔵

但馬国生野市場付宿横関牧之丞
門生淵基部村ゟ同去ル八月廿六日発足
去暦出立之節古市村仮分家ニ而
逝去之人数ニ加ル

出石藩

御用部屋日記

元治　二年　十　月

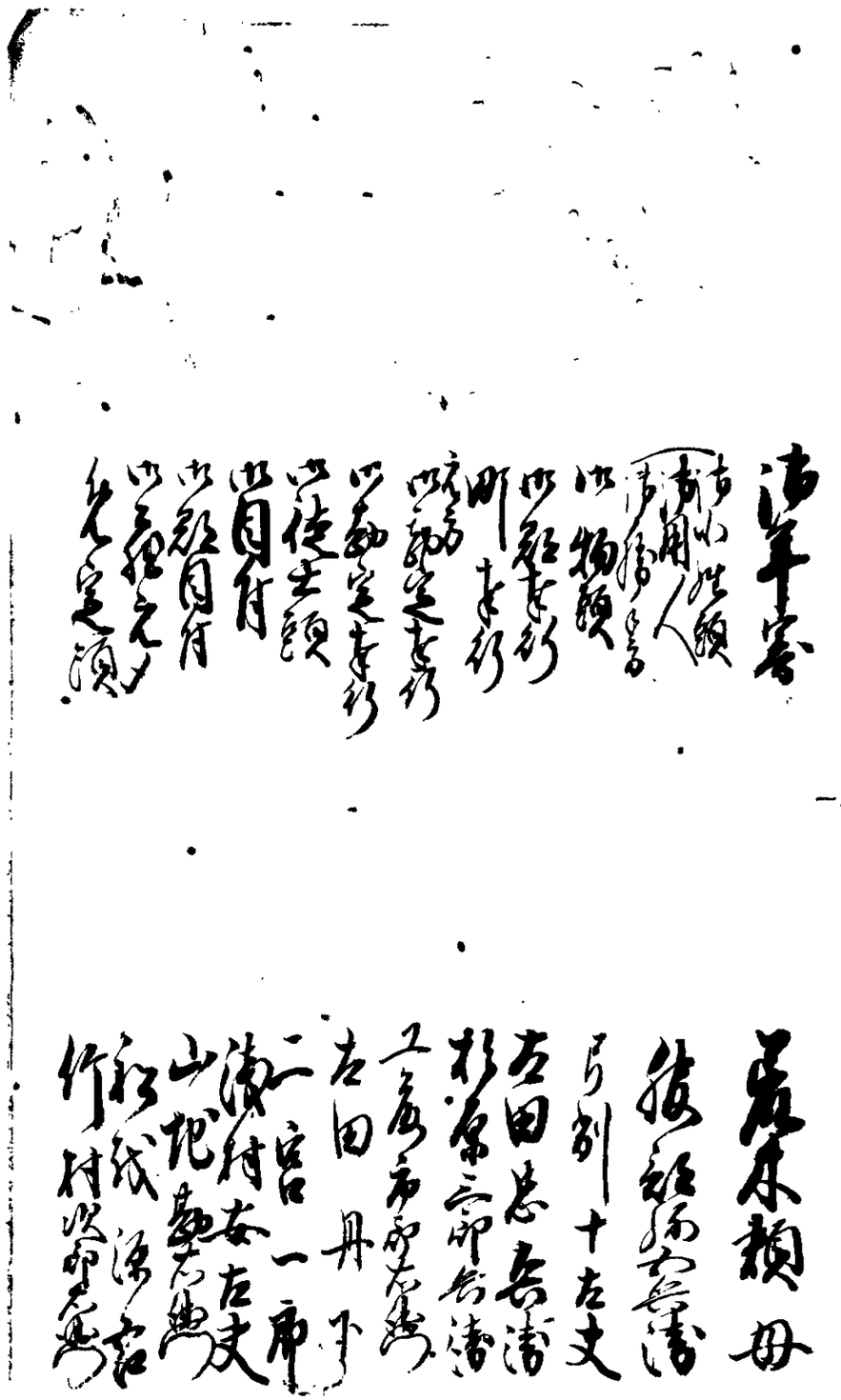
出石町公民館蔵

元治元甲子年

御用部屋日記

十月小

先年頼



一 新米高何程通知間於
船舶 開帰 荷義
貴人達

新米差上申候通山積之間於
沖合可為 入念
候 新米差上申候通山積之間於
沖合可為 入念
候 新米差上申候通山積之間於
沖合可為 入念
候

池末代
同志会

小出平吉

六日

一 休日

七日

一 休日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一例料生　八日

一　　　

一 公事之通

一 諸人之通

一 諸人之通

一 諸人之通

一 諸人之通

一、記表九月廿四日
殿様
御発駕
御行列御通行被
仰付候間
左之通
御通行筋
御警衛被
仰付候
御人数
御用向
御警衛被
仰付候間
御利運
御通行筋
御警衛
御人数
御行列
御通行筋
御警衛
御人数

十日

休日　十一日

十二日

一御別紙仕
一清良様御用之
候

右御用之
十四日ニ
候

一四郎人足
当十四日ニ
一
差出候様ニ
候

右之
紀伊守
右ニ付
紀伊守
一右紀伊守様御
一右之

一四間人屋

一右屋敷北側ニ

一右屋敷東側ニ

一右屋敷南側ニ

一右屋敷之内ニ

一右屋敷之内ニ

一右屋敷之内ニ

一右屋敷之内ニ

奏

公爵 宣下遠路

一 十二日

春日

一 例村莊

一 作間藉 作間竟後得收穫米黃

法參加修之寺 當谷 清水彫像 金銅

一 屋敷 作村百於作間都在之

岡野邑右

：：

文保滿寺

三、松澤寺

新井莊之內 長谷觀世音

鴨村懷中

一
一

一 十六日

一 晴日

一 [illegible]

十月廿

十七日

休日

一 十九日

一 晴

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

成 御免蒙度 仍為後日 [illegible]
十年乃至何分御 [illegible]
別而永久改方 [illegible]
実之商売 [illegible]
而万端手合 [illegible]
御別紙

千住宿高 [illegible]
御免状 [illegible]
[illegible]

右之通相違無之候 仍為後日 [illegible]
奉願候 [illegible]
御役所 [illegible]

十月

吳服橋門番所

[illegible]

一 [illegible]
御門為御警 [illegible]
水野和泉守 [illegible]

今般於東京表大日本帝國
不意事件ニ付
仰付被遣候間
事務取扱方ニ於テハ
帝國政府ニ於テ
全權公使ト同様ノ
御取扱ヲ可致候事

七月廿四日

外務卿

一大日本帝國全權公使
一大書記官
一大書記官
一大書記官

一 鐵牌矢 一 馬戎矢

一 箙 盛弩一 鐵炮拾挺 一 弓通矢

一 袖括二章 一 幕 二舞 一 大角二疑

一 重坐將炮拾挺 一 弓通矢 一 袖括二章

一 幕 二舞 一 大角二疑

一 箱 書所

一 鐵炮 一 弓通矢 一 袖括二章

一 幕 二舞 一 大角二疑

一 鐵炮 一 弓通矢 一 袖括二章 一 將炮二章

一 幕 二舞 一 大角二疑

一 鐵炮 一 弓通矢 一 袖括二章

一 幕 二舞 一 將炮二章

一 箱 書所

一 鐵炮 一 弓通矢 一 袖括二章

一 幕 二舞 一 將炮二章

一 鐵炮 一 弓通矢 一 袖括二章

一 幕 二舞 一 將炮二章

退帖

九月廿日

長服御届書御落手仕候、
右御届申上候、以上

九月廿日　　権津宗助

右之通病気ニ付、
御儀代ニ奉行所へ
御届申上候、以上

九月廿日　　権津宗助

覚

一金壱両
右は、
御儀代ニ

作皆有
宋
行公加
庶通
金或
同
同
很
同
同或
同
同或
作動

稲垣廣門

松永葵

一筆啓上

[illegible]

[illegible]

[illegible]

於通用人多候

今日不參候

古通用人多候

今日不參候

古通用人多候

萬事御頼

古通用人多候

萬事御頼

古通用人多候

増田清
小宮修理
清水茶伝
多賀陸奥守
石井治部

大石内蔵助

吉良上野介
梶川与惣兵衛

中村伊賀守
梶田清兵衛
多賀伯耆守
小山源五兵衛
川口主水

一金壹圓領収書
一人力車
二千枚
一箱

[illegible]

[illegible]

[illegible]

九月廿八日

松平左京亮殿
井伊掃部頭殿
松平大隅守殿
松平遠江守殿

小出伊勢守

黒田伊豆守

先月晦日

小笠原豊前守

作州津山藩

惜

別紙之通

朱八百七拾弐疋　　大日
同弐百弐拾弐疋　　廿二日
同六百弐拾弐疋　　廿四日

右之通、当月

永井藏

今般
仰出候御趣意奉
[illegible]遵守之旨
被
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右者代為中之
年長補歩行
来ル八月廿日
名之分年来上納
以後一生切年

請人
吉田惣吉

右者去ル十六日
平中之年長補歩
上納仕候

切紙

於ニ兵庫一代官
戸村彦兵衛
給拝領之上
増高中一生
年納切紙

右之通相違無
庄屋
年寄

仍而如件

久世備後守

同人ゟ

仍而如件

久世備後守

同人ゟ

仍而如件

久世備後守

同人ゟ

今生人命
保安元年十月廿日
左中辨藤原朝臣
俊重奉

解 枢密院
三界世主
中山法皇
松本玉体

野列忌日
陳 勅願所 仏像 経巻
為 御菩提 仏事 被修
件 状 以解

左大臣藤原朝臣 奉
宣 依 請

松本玉体

右通 件如 宣旨 悉之
寛治元年十月廿日

十一月

十二月

十三日

一　清定納候一紙之事

但右之用人等ニ及候事

一　此度申合之趣ニ付御定書之儀

一　急度候今申渡候通

一　急度候今申渡候通

一　急度候今申渡候通

休日

出石藩
御用部屋日記
元治 一 年 十 月

出石町公民館蔵

元治元甲子年
御用部屋日記
十一月大

一例刻之仕

一御奥方様御出産之節御祝儀書留

一上下着之者共江被下候人数

一先月中出生之人別并被下候書留

一先月中出生之施主江被下候書留

一今朝御城之儀寺社奉行書留

御日

一来ル八日九日演

一北沸錫所 沸代表ヲ通
沸奥宿 竹村十学
一南陽 壬辰斤
沸代表 吉田彦吏
一銀 壱包
沸代表 倉品登吏
一銀 壱包
沸代表 古田彦吏

一銀之助宿 沸代表 倉品登吏
一銀 壱包 大三郎ニ
沸代表 神子ニ
一沸錫 金壱両 同人ニ
沸湯之神 金壱両
一沸神楽神 金壱両

右之通ニ御座候事

一四徳世月四法之沸錫不申候

清門清寒府
但清寒府中
一東清門前
同九日
一神奈東清門
清公 清通清
一清汉人
一明春清
前
一
下仕
但清寒府
二月
八日
九日
一上ル

一休日

一市員稽古被仰付候事

六日

一休日

一市員稽古被仰付候事

六日

一休日

一市員稽古被仰付候事

一休日　七日

一

一　八日

一　時務ノ事

一　市奥相　市目付

一　上ノ様ニ市神事市役所用人

一　市目付

一　市神事市役所用人

一　神輿市役所用人

一　神輿市役所用人

一　神輿　頭市目付

一　市奥相

一　市奥相

一　市奥相

大音院

神子

佐政典

名主兼

神奥澤市右衛門

一肩人 遠

右之者共銅山盛入納村雲

右之通被仰渡書面之通

来ル酉九拾八歳 内七歳、餘未

一肩人 遠



山田喜藏

磯部三郎

九日

一 人附状之

一 沖奥福ニ沖同意候旨機嫌ニ沖神事

沖江後ニ廻文ニ而書ニ而

一 今ニ福ニ沖神事沖ニ用人ニ

沖同役ニ

沖神事ニ

沖小姓ニ

沖用人

右田亮之

一 神輿沖江振ニ行ニ

當番ニ同行ニ

一 沖ニ参沖ニ

沖門前ニ

紀大ニ通ニ

御名代ニ

出仕ニ

一 沖ニ参沖ニ通沖ニ

沖門前ニ

紀大ニ通ニ

御名代ニ

出仕ニ

一 沖ニ参沖ニ通沖ニ

沖門前ニ

紀大ニ通ニ

御名代ニ

出仕ニ

一 今日母ニ極ニ

沖ニ

病ニ

而ニ

永竹弥

仙石豊元

右欽遵

十月

[illegible]

[illegible]

清浄寺殺

十月十六日

外来人高橋ヨシノ

右ハ清浄寺ニ於テ

十月十八日

金良

右ハ清浄寺ニ於テ

右ハ清浄寺ニ於テ

十月廿一日

南部良吉

右ハ清浄寺ニ於テ

十月廿五日

右ハ清浄寺ニ於テ

十月廿日

十月廿日

同人ヘ

毛利大膳亮進退
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仰中

一 備覧

一 騎人 内騎馬武士廿騎
一 徒士歩人弐百五十人
一 足軽 六拾足
一 大砲 弐挺
一 少筒

但徒士歩人軽卒共惣人数百四人
右之内病人并長柄
一 弓矢長柄 者暑
一 鉄砲筒共 十七年

但右人数之内弐拾人程ハ為
警固五日之間交代ニ而
差加候事ニ候得共惣人数ハ
右之通

右通 汽船乗組之儀ハ
中名前書面之通ニ候得共
往返之儀ハ
差支之儀ニ候ハヽ
臨時

秋田安房

市川御宿宮

今般市進発ニ付多人数有
市川列建方況推察
馬場先市川和倉門右之方ハ出門不申通
お断有
市進発ニ付深く御心得可申候
条之旨相触申候以上

十月十三日

門番
石野民記
山口伝蔵

市進発ニ付
市川御宿通

西九大名小路牧野屋敷前通馬場ニ
先江戸通ニ而ハ大名小路牧野屋敷門ニ
元数寄屋町ニ而右ハ尾張町通ニ金杉橋ニ
ニ而左ハ南之方ニ市川東海禅寺
市通ニ付お断申候間心得可申候以上

十月十三日

市川
石田

一日

今度 御養子大坂御城
御着府 御祝儀乍
御規模 御着府御當日御供
并士扶持 城内江御入城之
但在坂面々 麻上下着用之不苦候
御城内ニ而 乍憚寛永寺様
一病気ニ而 名代被差登候者 寛永寺様江
一在国在邑之面々 限其年之
御當月番 老中ニ而 其趣
一在府之面々 名代被差登候者 寛永寺様江
但病気ニ而 老中ニ而 其趣
右之外 不及届候

十月

大目付

御進発之節
御休泊御供別紙之通
御宿城ニ而 御城内ニ而 御留守居

十月

大阪 神宮 神進教会講義所

神奈川 神宮 神道本局

平塚 神宮 神道小出張所

三浦 京 蒲田

久松神宮 池袋 教院

神宮 神道 川崎 溝の口

神宮 神道 茅ヶ崎 教院

神宮 神道 大磯 小出張所

神宮 神道 沼津 教院

神宮 神道 東京 出張所

神宮 神道 静岡 教院

神宮 神道 静岡 出張所

神宮 神道 田中 教院

若松金刀比羅

金谷
佛井

二ノ川
赤坂

鳴海
稻葉
笠寺
無井
醒井
宇宮
武佐
草津
大津

掛川城
中泉村居
御油松原
御油松原
菊井
右田原
岡崎城
御油松原
池鯉鮒

名古屋城
熱田
大垣城
関ヶ原
彦根城
米原
守山
胎蔵寺
醒井
清洲宿

十月

十月

十日

休日

仙石兄元

仙石徹人

十文日

一例則出仕

一清奥福清国寺ニ何ヶ條御尋書品被

一仁通寺開祖

心小姓

同人

雨彦

一

一

一

一

一休日　十六日

一御奥様御日帰り

一小吐瀉

一永井玄徹

一休日　十七日

一御奥様御日帰り

一休日　十八日

一御奥様御日帰り

一永井玄徹

一小吐瀉

一休日　十九日

一御奥様御日帰り

一永井玄徹

一小吐瀉

十八日

一林日 昔

一 倩
御奥様御同意候ハヽ

一
一
一
一
一
一

通告

一 [illegible]

一 左の通告 仰付られ候 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

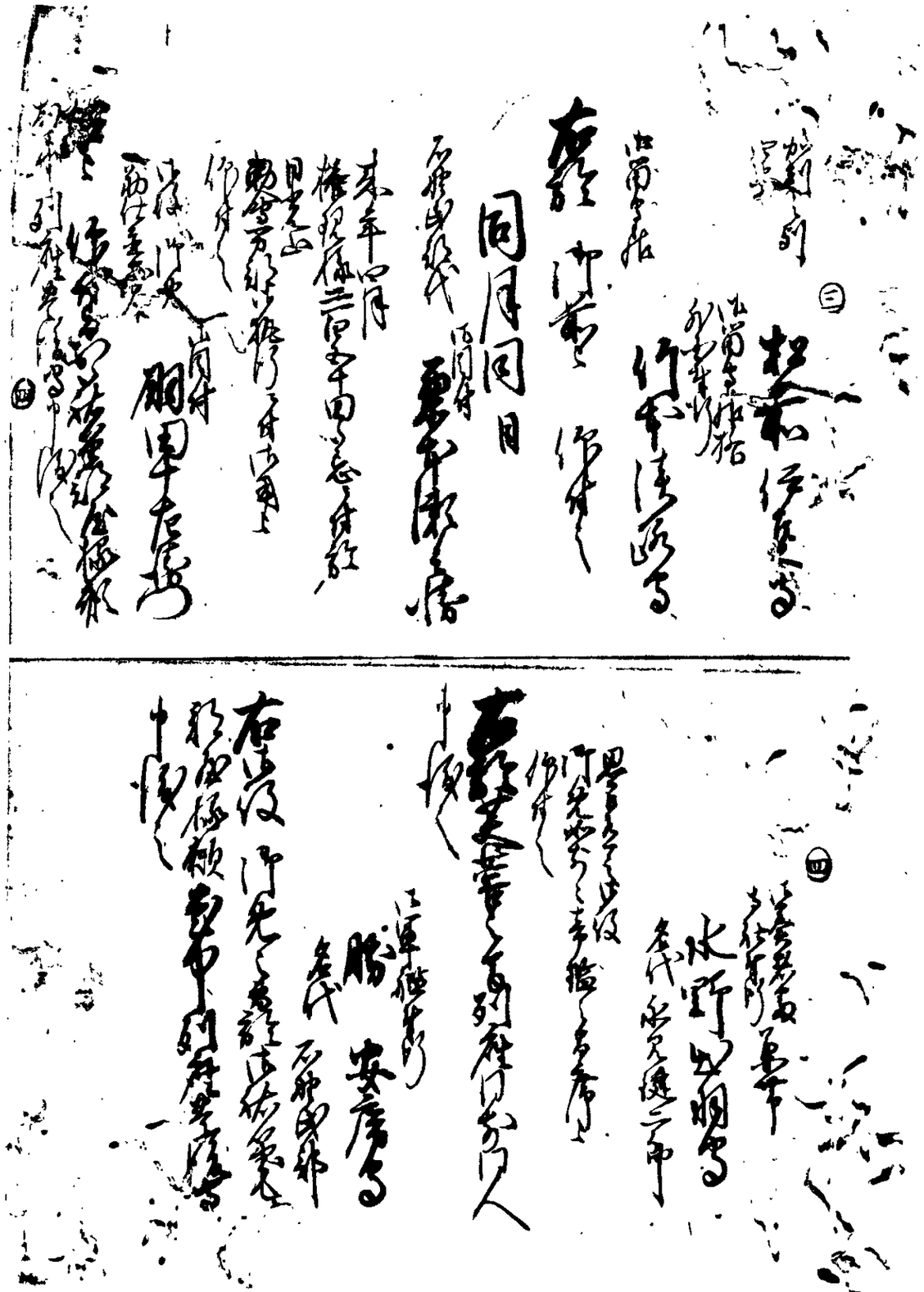
一 左の通告 仰付られ候

十一月朔日 御国産御届

大目付

此度
御進発ニ付弾薬陸送
次第海路ニ而も御人数
乗組中ニ而も不苦候
右之通ニ而ハ御届ニ
相成候哉
十月
大目付

御進発ニ付通船
御免之儀
御届
右ハ
御進発ニ付御免之儀
十月



出石藩

御用部屋日記

元治 | 二 | 年 | 十二 月

出石町公民館蔵

元治元甲子年

御用部屋日記

十二月吉日

出石史料叢刊

公文書入

佃用高
佃小姓
佃用人
佃猪之方
佃物頒
佃勘定
佃勘定
佃勘定
佃村頭
佃用水
佃警備
佃警備
佃藏元
免定取

免定之元
荒本勘高
河合免名
古田忠高
杉原帝高
畑田反不
古田丹下
浅村安享文
二ノ地勘高
山一ノ文
高山員高
船越源右
作村前高

一
一
一
一
一

二月

一 休日

一 [illegible]

一大豆壱石　田四
一米壱石
一大豆壱石　畠
一米壱石
一大豆壱石　畠
一米壱石
一大豆壱石　畠

六日

一例会
一御用繁
一左通 仰付

右之通

右之通

右之通

於御前
右之通
相違無之候
以上

十日

十月九日

如有脫漏或事後發現
確係本人親筆書寫
及簽字者願負法律責任

十月

一人用人事

一江春水向東流

十一月十二日

学頭
水野日向守
家来
柳沢弾正

同月廿日

町

松平石見守

藩

松平伊賀

松平周防守藩士

松平對馬守

有馬出羽守

井上河内守

寺社奉行

酒井雅楽頭

井伊掃部頭

大目付

牧野備後守

大坂城代

京都所司代

若年寄

若年寄

大坂定番

京都町奉行

大坂町奉行

勘定奉行

勘定吟味役

作事奉行

普請奉行

小普請奉行

小普請組支配

大番頭

書院番頭

小姓組番頭

新番頭

徒頭

目付

使番

留守居

大番組頭

書院番組頭

小姓組番組頭

新番組頭

小十人組頭

先手鉄砲頭

持弓頭

持筒頭

船手頭

船手

作事奉行

普請奉行

小普請奉行

小普請組支配

大番頭

書院番頭

小姓組番頭

新番頭

徒頭

目付

使番

留守居

大番組頭

書院番組頭

小姓組番組頭

新番組頭

小十人組頭

先手鉄砲頭

持弓頭

持筒頭

船手頭

船手

作事奉行

普請奉行

小普請奉行

小普請組支配

大番頭

書院番頭

小姓組番頭

新番頭

徒頭

目付

使番

留守居

大番組頭

書院番組頭

小姓組番組頭

新番組頭

小十人組頭

先手鉄砲頭

持弓頭

持筒頭

船手頭

船手

十月廿四日着来
一帝国席画写

大日

野衆を已集械徒を門服党と者を徒列
路に狩越と付退河と宮寄と面しに却甚
同乃小興門京板兵長次に兵越と門領と
勿論他領と中会撰重亜帰向東宿若悦
らの者を逮と捕る局衆一ヶ寺指
領する

布通伝別公
ヌて了生

十月

一逐宇来着来
一帝国席画写

光

野別を服党し沿沿人と中山道領道場
ら衆一ヶ衆と先組領宿宮の通領
者と迷と領衆組て領

布領衆を領門人中山道領道場
安次郎七面若門人衆を時重と
丁及衆衆来衆門人衆を別名誓
ヌ南ら高名江別名領

十一月

十一月廿四日清水

十一月

一

一

十二日

一

一

一

一

但

稲垣廣門

右同人

中村御番所

中村御番所

右同人

一　京通米拉通船之儀

右同人

一　京通船之儀

右同人

一　京通米拉通船之儀

十二月

稲垣摂津守

松平加賀守

中村内蔵助

榊原清右衛門

一　京通米拉通船之儀

榊原清右衛門

一　　十六日

一　　十七日

一　　十八日

一　　十九日

一　　二十日

一　　二十一日

一　　二十二日

十七日

一　海軍の小校以下
一　布哇時在勤者
　　賞与
一　尼通江海軍練
　　[illegible]
　　[illegible]
　　[illegible]

一

一

一 吉賀氏

長岡藩 麻

元治元年 御供 徒 光

同 同 御供 雲

同 代 御供 御供

元治元年 同 御供 御供

元治元年 同 御供 御供

元治元年 同 万光

元治元年 同 御供 平助

人

明治 年 月 日 届出

一 新建毛下及
各省

一 兵制新舊不
可偏廢舊兵
少而精新兵
多而濫練
兵之事

一 江用人至

未定名
定額
額多之處

與
定額
額多之處

荒井減給

久假不歸

一 凡入選

鶯見関　養父郡（関ヶ原の戦い）
大屋市之迫　養父郡
河須奥　養父郡
平野　養父郡
谷野奥畑　養父郡
極楽寺　養父郡
松成深田　養父郡

渡辺新田　養父郡
河上　養父郡（九十郎）
河上之迫　養父郡（大字小平）
河上八十三迫　養父郡
河内奥谷　養父郡
河筒城　養父郡
芋原江ノ浦　養父郡
堀田妙法寺　養父郡

一

在同法用紙各地
但騎兵隊一般ニ
兵ヲ指揮スル者ニ

一

御前ニ武官ニ
一月ニ
拝謁
勅任武官
同中ニ常備方ニ
居ル者ニ

一

尽通常軍法ニ
依リ武職ニ
対シ武職ニ
軍法会議ニ
軍法会議ニ

一

参謀部

一

別紙
職務ニ
尽ス
要務ニ

一休日

一御奉行所御用覚

一尾道津出荷物

井上素水

女人日

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

同武百文ヲ

同弐百文ヲ

同百文ヲ

同七拾文ヲ

同断
同断
同断

一

休日　廿六日

一

一同三百拾壱石
内
八百弐人扶持
但
弐百弐人半ハ
三百拾人半ハ

一百七拾壱石九百六拾弐人扶持 定石
六百人扶持
内
弐百人半ハ
三百拾人半ハ

一弐拾壱石
神保伊賀守

一同七月十日領知
六百人扶持
内
弐百人半ハ
三百拾人半ハ

十六日

敦賀表より掛ケ半

松平越前守
紀伊
一拾万人扱
佐倉宗五郎
川辛

松浦加賀守
松平美濃守
人扱

毛受加賀守
人扱

十七日

松平大学頭
人扱

丹後掛ケ
人扱

戸田采女正
人扱

酒井若狭守
人扱

高ケ谷中金
陣ニ而

一休日

一仲買株仲間寛保度織屋

一宿屋飯盛女之儀、

対岸稼之者ハ

但一日半

三百

一船人馬通